

## 会 議 録

会議の名称		第9回（仮称）香取台地区小学校開校準備委員会		
開催日時		令和4年6月17日（金） 開会 18：30 閉会 22：30		
開催場所		つくば市役所 2階 201会議室		
事務局（担当課）		教育局 学務課		
出席者	委員	堀越直子、堀田誉、中川元、眞家登志子、長岡かほり、鈴木由紀子、岩田隆敬、小濱いずみ、林将広、石井勇輔、檜由美子、鈴木裕絵、田上和久、塚本明、山口健次		
	その他			
	事務局	学び推進課指導主事（主査）市原猛、 教育施設課課長鈴木聡、教育施設課係長草間匡人、 学務課課長下田裕久、学務課課長補佐川又文江、 学務課係長中山美希、学務課主任工藤麻貴、 学務課主事白土直也		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		(1) 体操服のデザインについて (2) 体操服デザインに関するアンケートについて		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1	開 会		
	2	新設校の建設状況について		
	3	議 事		
		(1) 体操服のデザインについて		
		(2) 体操服デザインに関するアンケートについて		
4	そ の 他			
5	閉 会			

<審議内容>

1 開会

事務局：それではお時間となりましたので、ただいまから第9回(仮称)香取台地区小学校開校準備委員会を開催いたします。議事に入ります前にお願いをいたします。本日の委員会は、AIによる議事の文字起こしを自動で行うシステムを使用しております。そのため、大変お手数ですが、ご発言の際は必ずマイクをご使用くださいますようお願いいたします。マイク下のスイッチを押していただき、マイク中央部のランプが青く点灯しましたら使用できますので、よろしくようお願いいたします。本日は、議事に入ります前に、(仮称)香取台地区小学校建設の進捗状況について、事務局より説明させていただきます。

2 新設校の建設状況について

事務局：はい、事務局です。どうぞよろしくお願いいたします。それでは次第のほうを1枚めくっていただきまして、(仮称)香取台地区小学校の工事進捗状況ということで、写真が載せてあるかと思うのですが、こちらが5月下旬に撮影した状況になっております。敷地の外周に沿って、敷地の高低差がございますので、擁壁の工事が完了しておりまして、写真左側が体育館、真ん中が校舎、右側が児童クラブ兼コミュニティ棟という形になっております。最新の状況としましては、一番左側の体育館は屋根工事まで終わっておりまして、今、外壁の塗装をしてるという状況です。7月になれば、この足場が外れまして、外壁の状況が見られるようになるかなという状況になっております。校舎に関しましては、写真で茶色く見えてるところが、屋上を作るための型枠になってまして、この上にコンクリートを流して屋上ができるという状況なんですけど、今は、そのコンクリート工事が完了しまして、屋上まで終わってるという状況になっております。1枚めくって

いただきまして、1か月、2か月ほど前の写真なんですけど、4月の撮影状況ということで、これはまだ3階の床と柱の鉄筋が見えてるような状況になっております。右側が4月の状況写真になっております。工事のほうは順調に進んでおりまして、躯体工事のほうが無事6月に完了したという形になりますので、今後、内装工事、機械、設備工事を進めていきます。今後の予定としては、年内に概ね工事のほうを完了しまして、1月になりましたら、いろんな検査、消防の検査とか、建築の検査とかございますので、そういった検査を受けまして、1月末の引き渡しという形で、今のところ予定通り進んでいるという状況になっております。工事の進捗としては以上になります。

事務局：ありがとうございました。それでは、これより議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、委員長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

### 3 議事

委員長：はい。それでは、会議の進行をさせていただきます。事務局へ確認となりますが、本日は傍聴の方はいらっしゃいますか。

事務局：傍聴者はおりません。

委員長：はい、ありがとうございます。傍聴者がいらっしゃらないようですので、議事に入りたいと思います。本日の議事は、体操服のデザインについて、体操服デザインのアンケートについて、以上の日程になります。それでは議事に入ります。まず先般の委員会で設定いたしましたことについて、メーカーより本日お持ちいただいている体操服のサンプルについてご説明をいただきたいと思います。ではメーカーの方、よろしく願いいたします。

ママダ：皆さんこんばんは。今からA案、B案、C案の体操服についてご説明を

させていただきます。よろしくお願ひいたします。お手元に資料のほうをお配りしてゐるんですが、まず、Aタイプからご説明させていただきます。こちらの商品、ジャージのほうですね、素材特徴としましては、丈夫なことが一番になります。毛玉や引っかかりにくい素材でのご準備とさせていただきます。Tシャツはですね、こちらはですね、プレゼンのときにも見ていただいた、汚れが付きにくくて落ちやすい、そして透けづらい素材でのご準備をさせていただきます。AタイプからCタイプ、共通の事項にはなるんですが、デザイン画の下に、形のバリエーションを私たちのほうで書かせていただけてます。赤枠で囲ったものが今回、実際に商品でお持ちしているものになります。ジャケットが4種類、パンツも太さ違いで4種類、ハーフパンツは長さ違いで2種類のご準備ができるよという表になっています。Tシャツにつきましては、カラーのコメント、脇のほうに書かせていただけてますので、そちらはご覧になっていただければなと思っております。こちらのAタイプは、前回のお話の中の島名小学校様の色味に近いものということで、今回ご提案させていただきます。もし、出てきていただいて、触っていただいたり、いろいろご意見をいただいても構いませんし、一度、AからCまで全部ご説明させていただいた後にぎくばらんに皆さん来ていただいて、見たり触ったりしていただく形、どちらか取ろうかなと思うんですけど、どちらのほうよろしいですか。

委員長：すいません、時間の都合もありますので、それをまわしていただいて、見させていただくという方法を、ちょっと待ってください、皆さんいかがですかという流れがあるんですけども、その皆さんのご意見を、あの形でみたい、こだわりたいという方はもちろん前になってなるんですけど、まわしていただきながら、説明をいただきながらこう見ていくと時間的にも、最後にそれで確認という意味で、どうしても前で見たいという方はどうぞっていう形でもいいのかなと思うんですけども。まわしていただいて、

ちょっと触ったり広げたりっていうところで見られる方、いらっしゃいますか。はい、誰もおりません。なのでメーカーさん言っていただいたように、前に皆さん出たいってことね。何か素材とかあがってましたよね。やっぱり触れたほうが実際いいと思うんですね。やっぱりその見るっていうとデザインが主になってくると思うので、実際触ってみての感触とか、そういった意味を踏まえての意見だったんですけども。1個ずつ見たいよね、まわしてもらったほうがよくない。そんなことない、別にいいの。すいません、3点終わってからでっていうことのご意見が多いので、その形をとっていきたいと思います。

ママダ：それではBタイプのほうをご説明します。こちらジャージですね、前回プレゼンのときに実績としてお持ちしましたファイテンのブランドのもので、素材も風を通さないで、コンパクトで持ち運びにしやすいものをそのまま使わせていただいています。Tシャツはご意見いただいていますカラーのものでですね。一応今回は、こちらネイビーとブルーとサックス、3色をうちのほうで展開カラーとしてお持ちさせていただいています。はい、すいません水色ですね。こちらTシャツのほう初めて見ていただく素材になりますが、こちらも表側にふと目の糸を使っておりまして、毛玉に強いもののご準備とさせていただきます。こちらは、島名小学校とは違いまして、裾がすぼんでないタイプのジャケットでご用意をさせていただきます。下の表は、先ほどのものと一緒になりますので、展開の変更は4種類ずつとなっています。

委員長：ちょっとすみません、マネキンの半袖なんですけど、ちょっとそこで上だけ変えてもらっていいですか、ちょっと全体のバランスを。ありがとうございます。

ママダ：はい、ではですね、最後Cタイプ。こちらはですね、今と同じぐらいの厚みを持たせながら、軽さのほうを半分にしている軽量感のある素材で

作ったジャージになります。すみません、この C タイプに関しましては、スクールカラーの紫を取り入れて欲しいとご要望いただいていたんですが、ちょっと時間の都合で今回はブルーのものをお持ちしておりますが、こちらのタイプということになりましたら、ラインとか、こういう切換の部分に紫のものに変更して展示までにはご準備させていただく予定になっております。こちら T シャツはですね、デザインの違いになりますが、生地自体が汚れ落ちが良くてという A タイプと同素材でのご準備をさせていただきました。

委員長：すみません、メーカーさん、説明ありがとうございました。ちょっとやっぱりまわしちゃうと、すみません、ざわざわしちゃって、もう想像のしないことをちょっと自分から言ってしまって、ちょっと反省しております、申し訳ありません。この後、ちょっと前に、飾ってあるデザインとか、移動いただいて実際見ていただくということで、ちょっと7時15分くらいまでに、ちょっとこうまとめていく流れで行きたいんですね。なので、もうここ各自、前回スラックのほうでも共有させていただいておりますが、ここで今回ちょっと決めるべき事項、大丈夫ですかね。皆さんもお分かりかと思うので、この後はもう決っていきますのでよろしく願いいたします。はい。

委員：この後、決と言われたんですけど質問の時間もなくても大丈夫ですか。

委員長：はい。メーカーさんから一通りの説明をいただいたんですけども、各自ですね、今、ありましたように質問の時間がないんですかっていう質問があったんですけど、それはもちろん取ります。なので、質問されたい方はマイクを通して挙手をしていただいて、お名前を言っていただいてからメーカーさんへの質問ということで、回答をこの場でいただく形でお願ひできますか。その上で7時15分ぐらいからまとめていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。では一通りまわしていただいて、ちょっ

と触ったり触れたりっていうお時間は取らせていただきました。またその上で、プラスアルファでちょっとまだ見てみたいという方は、もう自由に動いていただいて、その間に、質問ということで、こちらから振らせていただいたんですが、ちょっと A から行きたいと思いますね。メーカーさんすみません。A についての補足ということで、何かございますか。先ほどの説明においての補足ということで、A のジャージですね。

ママダ：大丈夫です。

委員長：はい。では A の体操服につきましてメーカーさんからの補足はございませんということで、委員の皆さんからこの A についてのご質問がある方は、手を挙げていただいてよろしいでしょうか。はい。

委員：はい。まず A ということなんですけど、共通の質問で、ハーフ丈とクォーター丈の違いはどのくらいあるんでしょうか。

ママダ：サイズにはよりますが、クォーター丈が短いものになりまして、ハーフ丈、同じサイズで比べますと、3、4センチ違うようになります。

委員：ハーフ丈のほうが長いんですね。

ママダ：ハーフ丈のほうが長めになってます。一応、大人での目安として私たちも設定させていただいてますが、ぴったりのサイズを大人、中学生とかがお買い求めになれば、ハーフ丈だと、膝中心くらいまで、膝がちょっとかぶるくらいですね。クォーター丈を買っていただくと、膝上、膝がかぶらないくらいのものを設定させていただいてはおります。どちらも昔の半ズボンよりは長いそうですね。

ママダ：そうですね。

委員：はい、わかりました。もう 1 点、質問なんですけど、A の、例えばこの淡いブルーのところを、B の紫に変えることはできますか。

ママダ：はい。大丈夫です。

委員：はい、ありがとうございます。

ママダ：サイズは、ごめんなさい、これ1つ違います。はい、これ1つ短い  
です、ごめんなさい。

委員長：ちょっと、すいません。前で質問される方もマイクを通してちょっと  
聞くというか、とっていただいてよろしいですかね。ではお願いいたしま  
す。

委員：はい。

委員長：すいません、メーカーさんよろしいでしょうか。

委員：すいません、ちょっと言葉の意味を教えてくださいんですけども、身頃、  
切替カラー、後もう1個、リンクカラー、これは何ですか。

ママダ：こちらになります、メインの色と、こういった切替部分ですね、脇  
のちょっとだけ。

委員：差し色的なもの。

ママダ：差し色的なもの、ちょっと T シャツ、こちらだけになります、この  
糸の色ですね、袖に入ってる。

委員：それがリンクカラーですか。

ママダ：はい。

委員：こちらの解説にある身頃の色変更は不可って書いてあるのは、例えば A  
パターンであれば、紺色はこれでお願ひしますって話ですね。

ママダ：T シャツのほうがですね、綿の混率とかによりまして色移りのするもの  
はこの色のみというような感じで、私たちのほうの物性の基準を持たせて  
いただけてます。こちらはですね、白くて透けないということが特徴にな  
りますので、こちら今回お持ちしてます白い T シャツに関しましては、色  
物のご準備をさせていただくことがちょっと難しくなっておりますが、こ  
の差し色につきましては色の検討が可能となっております。

委員：今の質問に追加でいいですか。じゃあ、メインのジャージというかね、  
長袖、長ズボンの身頃の色はこの色でいきますって理解でいいですか



ね。

ママダ：はい、そうです。

委員：A、B、Cのそれぞれが今ご提案いただいているカラーが一応基本と。

ママダ：はい、そうですね。

委員：はい、分かりました、ありがとうございます。

委員長：すみません、15分までにまとめていくということで先ほどご説明させていただいたかと思えます。今、Aについて、メーカーさんから補足ということで、その流れで続いておりますけども、ちょっとこの辺でBのほうの補足ということで、メーカーさんからございましたら、ご説明いただく時間に移りたいと思えます。お願いいたします。

ママダ：特に、私どものほうから補足はないんですけども、こちらも同じようにご質問等があれば、それに対してお答えできればと思えます。

委員長：ありがとうございました。それではBということで、ちょっとデザインのほう移っていきます。このBに関して質問、ある方は手を挙げていただいて。はい、お願いします。

委員：はい。Bのジャージで、上はファイテンを使っているので、前伺った話だと500円高くなってるという話で、他の例えばAとかと比較すると確かに高くなってるとはんですけど、一方でジャージの下は、このBのデザインのほうが安くてトータルだと何かこのBのほうが安くなってるとはんですけど、それはなぜでしょうか。

ママダ：下のタイプはどれも同じカンコーというブランドで私どもやらせていただいております、やはり素材の違いだったりとか、その他、私どもの方でご使用いただいている素材の量だったりとか、いろいろなことが加味されてちょっとデザイン価格のほうが変わってるかなという形です。

委員：ちなみにこのBタイプでファイテンを使わないと500円安くなるんですか。それとも、そもそもこれはファイテンを使わないと成り立たないとい

うデザインなんですか。

ママダ：ファイテンを抜くということはできますけども、当初、やはりファイテンのものを1つ案の中に入れるというお話をいただいておりますので、それで提案させていただいたような形になります。最終的にそれを取るとか、入れるとかっていうのは、このデザインが決まった後に決めていただくといいかなと思います。

委員：はい。ああ、なるほど。あともう1点だけ、このBタイプのデザインは非常に半袖が濃い色のデザインしかないんですけど、私は、結構体操着を着て通学することもあるので、あまり濃い色よりは白っぽい色のほうが特に夏場はいいんじゃないかと思うんですけど、これは白に変えるということとはできるんですか。

ママダ：私どもとしましては、例えば、白のタイプに、これをBタイプにということは全然可能ですけども、今回そのアンケートを取る際に、もうこれはAタイプ、これはBタイプ、これはCタイプという形で決定いただくというふうにお聞きしてますので、その辺りは調整いただくといいのかなと思います。

委員：分かりました。ありがとうございます。

委員長：はい。それではですね、Bデザインにつきまして、委員の方から続いて質問ある方は手を挙げていただいて、あと先ほどごめんなさい、まだ前で見えていただいていた方いらっしゃるんですけど、慌ててね、席に戻ってきていただきました。続けて見ていただくのは継続の時間で、はい、取らせていただきたいと思いますので、動いていただいてよろしいかなと思います。はい、では質問、お願いします。

副委員長：すいません。基本的なことでも申し訳ないですけど。ファイテンという表記を入れるのは素材に対してですか、デザインに対してですか。これ全部カンコーさん制作ならカンコーさん制作なんですよ。

ママダ：はい。カンコーのほうでデザインのほうはさせてもらっているんですが、ファイテンというロゴをつけさせていただいた段階で、ファイテンさんのほうにも登録をお願いするようになりますので、例えばこのデザインでファイテンがなくなった場合には、ファイテンさんのほうには、私達からの連絡をなしに、この程デザインをご採用いただいた場合には、私の方からはファイテンの方に連絡して、このデザインをファイテンとして作っていきますというご連絡をするという流れになりますので、生地に付随るとかではないですね。

副委員長：ファイテンという刺繍を入れた、そのブランド公認のデザインになるか、ならないかってことですか。

ママダ：そうですね、私の方から、これでファイテンのブランドとして、私たちの方で作らせていただきますという連絡をします。

委員長：大丈夫でしょうか。はい、ではお願いいたします。

委員：すみません。もう1点お伺いしたいんですが、ファイテンのロゴを入れる以外に、以前、首元にチタンテープを入れるか、入れないかというところもお話があったかと思うんですが、今のものは入ってるものになるんでしょうか。

ママダ：はい。ファイテンのロゴがついてしまえば、必ずチタンテープがつかれます。片方だけということはできませんので、両方取られるか、両方残すかということに、はい。一方だけということはちょっとか不可能です。

委員長：はい、ありがとうございます。Bのデザインにつきまして、質問続き、ございますか。はい、ではお願いいたします。

委員：すみません、私もごめんなさいね。ちょっと全体の考え方の話なんですけれども、パンフレットを拝見すると、Aタイプがダイヤモンドタフ、Bタイプがウインドガード、Cがライトテックってあるので、この素材の特徴でもって3パターンに分かれていると。で、シャツに関しては、AとCがミエ

ンヌで、Bがペプライムトラックなので、ジャケットとシャツの組み合わせはチェンジできるという理解でいいですか、それともこれはもうウインドガードに対しては、このペプライムトラックみたいに組み合わせが決まっているという理解でいいですか。

ママダ：先ほどお伝えしたと思うんですが、アンケートを取るときにAタイプはこの形、Bタイプはこの形というふうな形で決めるというふうにお聞きしておりますので、交換したり何だったりというのは全然、Tシャツを違うところのものにするとか、そういったことは全然できます。

委員：だからその組み合わせは自由だけれども、保護者にアンケート取る時には、ある程度集約したほうがいいから、そういうパターンでという理解でいいですね。

ママダ：そうですね。

委員：はい、かしこまりました。はい、ありがとうございます。

委員長：はい、ありがとうございました。はい。それではですね、Cタイプのメーカーさんの補足ということで、お願いできますでしょうか。

ママダ：Cタイプのほうもご質問をいただいて大丈夫です。補足はないです。

委員長：ありがとうございます。ではメーカーさんからのCタイプへの補足はないということで、Cタイプにつきましての質問、委員からありましたら、手を挙げてお願いいたします。はい、すいません、質問ということで委員より上がりましたのでお願いいたします。

委員：はい。すみません、このCタイプなんですが、上着を見た感じ少し腰の辺りがシャープに見えるんですが、それはデザインですか。

ママダ：そうですね。このカーブの切換が内側に入っていることで、スリムに見えるような。

委員：縫い方自体はストレートだってことですか。

ママダ：そうですね、まっすぐですね。はい。

委員：あともう1点、パンツなんですけど、セミストレート、これだけセミストレートで作っていただいているかと思うんですが、ストレートの幅とどこら辺が、その何センチぐらい。

ママダ：膝下ぐらいから裾幅で言いますと、1センチ程度違うようになります。セミストレートのほうが1センチほど細めです。

委員：はい。1センチと言われているのは、周囲で1センチ、それとも半径で1センチ、それによって大分違うと思うんですけど。

ママダ：ぐるりで2センチですね、この幅がこう横に測っていただいて1センチほどです。

委員：幅のときに1センチですね。

ママダ：はい。

委員長：すいません、時間が迫ってまして、メーカーさんへの質問ということで、ある方は手を挙げていただいて、はい、では委員お願いします。

委員：すいません。ちょっと失礼な質問になっちゃうかもしれないんですけど、軽量化はいいんですが、軽くすることによってよれやすいとかありますか。すごい何か首の襟のところ他に比べてくねってなってるような気がするんですけど。

ママダ：こちらはデザイン性ということもありまして、通常こういった普通のですね、ものには、中に襟の芯を入れてるんですが、こちらは肌当たりをやわらかくするために、芯等も全く入れてませんので、そういった形で張りがありません。着ていただいたときには、あまりよれ感もなく、その代わり首元も低学年の生徒様でもやわらかくしていただけるようになっております。

委員：わかりました。ありがとうございます。

ママダ：触ってもわからないぐらいの薄い芯が入っているので、ジャージの襟裏は通常この袖と同じものを使っているメーカーさんが多いんですが、こち

らのファイテンと C タイプですね、こちらは、厚みが出ないように素材も軽量化ということに特化させていただきますので、生地と生地でお作りしているために、薄くてやわらかい作り、こちらはジャージのほうもしっかりしてしますので、一般的なものを使わせていただいています。

委員長：すいません、前にですね、今のデザインの前のアシックスのものが置いてございますので、どうぞ参考までに見て行かれる方、行ってください。

ママダ：腰紐についてのご質問いただいたんですが、弊社の商品は JIS の規格に合わせておりまして、小学校は紐がないというタイプでスタートはご準備させていただいています。企業としての取り組みとなりますので、お母様方のほうで紐を入れられるように、穴だけは開かせた形で、はい、させていただきます。

委員長：時間のほうがですね、ちょっと 15 分過ぎまして、最後になんですけどもトータル的な、ちょっと質問し忘れちゃったとか、これ最後にしておきたいということでメーカーさんの方に、ご質問ある方はこの場で挙手いただいてお願いできればと思います。ちょっと考えてる間に、ごめんなさい、先ほどの委員のご発言がちょっと私、取り間違ってます、わかりました。そのスラックにおいてまとめたことを、議事に載せる、同じことを載せるような形で、昨日に至って私の方で取りまとめしてないと思うんですね。毎回そうなんですけど、スラックにおいてまとめたものもここでの議事載せていただくように確認っていうことで、必ず議事に載っておりますので、その議事に載らないところで何か決め事をしてそれがそのまま決まったという、これまで第 9 回におきましてはございません。ちょっと先ほどごめんなさい、一瞬の時間で理解に至るまでに、もう何かありましたので、なのでこの後、今質問ありまして、先ほどまでのスラックでまとめたものを確認をしながら、最終決定ということで、決に向けていきたいと思いますのでよろしく願いいたします。ご質問大丈夫ですか。はい、じゃあ委員

お願いいたします。何か泣きそうなので見守ってあげてください。ちょっと疲れてる、すみません。

委員：すみません。メーカーさんへの質問というよりは、ちょっと皆さんにご提案なんですけれど、白い体操服のほう、Tシャツの方なんですけれど、白が2案、カラーが1案あるじゃないですか。この白のどちらかのほうを、例えばなんですけど襟元、首のところが白いと汚れが目立つということで、多分、島名小の体操服って首元が紺色になってると思うんです。なんかそういうご説明を前回受けたと思うんです。なので、どちらか一方、色を入れていただいたら選択肢の幅が広がっていいのかなと思ったんですが、いかがでしょうか。以上です。

委員長：すみません、事務局よりお願いいたします。

事務局：事務局です。今のご質問と、最初のご質問で、白の上の半袖っていうお話があったと思うんですけど、Aのタイプは、この長袖や長ズボンに合わせて、多分デザインされているので紺のラインが入ってるんですね。白がいいっていうのでチェンジしたいということであれば、この紺色だけ抜いてしまえば、白い上着になると思います。今の首元の話なんですけど、AとCは確かに白いものなんですけど、そのものについて首回りのその色自体をできる素材なのかどうかはまずメーカーさんからご回答いただかないと、できない場合には、もうご希望されても作れないっていうことになってしまうので、値段の部分等もありますので、生地の部分、色合い的なのか、差し色的なものが入れば値段は多分上がると思うんですよね。それはAとCの半袖を見ていただくとAにラインが入ってる部分で110円高くなってる、ラインがない白のほうが110円下がってるので、同じような感覚なのかどうかはちょっとメーカーさんのご回答していただかないと首回りができるものかどうかはちょっと分からないですかね。

委員長：はい。ということで、事務局よりですね、はい、お助けが入りまして、

メーカーさんの方に回答をお願いいたします。

ママダ：ありがとうございます。まず、今、白い T シャツをご提案させていただいている素材のほうが、プレゼンでも見ていただいたかと思うんですが、汚れがつきにくくて、ついても落ちやすいという素材をご提案させていただいております。ですので、その首の部分、実際色を変えるということは可能なんですけども、このミエンヌという素材で、紺のものはないんですね。ですので、完全に素材を変えたものをそこにつけるしかないという形になります。そうしますと、今ここではすいません、お答えはできないんですけども、やはり今ご提案させていただいている価格よりは上がります。それになりますが、よろしいですかという形になってしまいますので、私どもとしては、自信を持って、汚れは落ちやすいですし、つきにくいですよという、白い T シャツをご提案させていただいておりますので、それをご使用いただくと非常に助かるかなと思っております。そのあたりは皆さんでご検討いただければなと思います。すいません、以上です。

委員長：ご回答ありがとうございました。質問いただいた委員から先ほどの回答、事務局のフォローをいただいた後のメーカーさんの回答いただいた上で、なにかございますか。

委員：はい。そうですね。ミエンヌ、前回実験を見せていただいて、私たちは汚れがつきにくい、汚れが落ちやすいっていうのを目で見て実感しているので、言われれば、確かにそうだなっていう思いはあります。ただ、アンケート取る時に保護者の皆様はその実験をやはり見てないので、何かこう上手に伝えられる方法があればいいなと思うんですけど、どうでしょうかね。

ママダ：展示の際には、ちょっと実際に見ていただくことはちょっと難しいですが、プレゼンで使った資料とか、写真を貼り付けたものを A、B、C で私たちのほうでご用意はさせていただこうと思います。素材の特徴とかポイ



ントだけにはなりますが、パネルを小さいものを準備することができますので。

委員：いいですか。

委員長：はい、じゃあ、すいません一旦、はい。

委員：関連しての話なんですけど、事前に送られてきた資料4だとデザインだけがセットで出ているだけなんですけど、アンケートのときに、今回例えばこの素材の特徴とって示されているような情報がセットで出すことはできないんでしょうか。あんまり、いや、ここの、この程度でいいんじゃないかと思うんですが、あんまり詳しいのを出しても、多分みんな混乱するだけでしょうし。

委員長：正直そうなんですよね、今、おっしゃった、委員が伝えたいことももちろん分かる。それによって多分こう選ぶものも違ってくるっていう、そのアンケート集計にも影響してくるんじゃないかなっていう部分ではわかるんです。あまり説明を、こうやって過程を分かっている人は、確認しながら理解ができてるんですけど、アンケートだけにこう出向いたときに、いろんな能書き書かれて、果たしてそれ時間かけてこうやって読み上げますかってことなんですよね。やはりパッと見たときの、感じるものってあるじゃないですか。ないですね。私はあるんですね、これっていう中で、下を見たときに一目で入ってきたものでっていう、ただ見方がそれぞれ違うので、何とも言えないです。全部読み上げて、納得いって、もう1回出直して、次の日来てアンケートに、もちろんいるかもしれませんがね。ただ、いろんなパターンをここで考えなければいけないんですけど、もう私たちは、最終的に集計に至って、要は流れ的に、今回面談期間というその時間の、皆さん合間を作って、見る方は来られるその時間で伝えられるものがやっぱり一番理想だと思うんですね。思うので、ちょっと申し訳ないんですけど、やっぱり学校からくる文書も、文章って読むまでに疲れるじゃな

い、箇条書きでボンッとやってきたほうがやっぱ保護者はその時のものって絶対に入ってくるという、もう全く同じだと思うんですよね。なので、ちょっとこの後そのアンケートの本文についてという時間をとっていきますので、一旦ちょっと事務局にすみません、お願いいたします。

事務局：はい、事務局です。今、お話の中で、アンケートフォーム、この後ですけど、アンケートフォームに、例えば今回こう出していただいて特徴って入れるのはちょっと難しいかなと思うので、パネルみたいな、ポスターサイズみたいなパネルに、例えばそれぞれの、今この素材の特徴ありますよね。素材の特徴プラス先ほどの汚れに強い。前回の資料で風に強いっていうパターンがあったと思うので、このパターンで汚れに強いみたいなのがあれば、それをポスターサイズの上に、製品の特徴で汚れ落ちやすいですよという写真みたいのを3つ用意してもらえれば、来た人には見てわかるのかなと思うので、ポスターサイズみたいなので製品それぞれの特徴を3つ作ってもらって、Aを置いてもらった脇に説明のもの、Bの脇に説明のってを3つ用意してもらえれば、来た人は見てすぐ分かるのかなって気はするんですけど。

委員：来られた方にはそういうパネルなり何なりを出すっていうのでいいと思うんですけど、一方で、オンラインだけで、投票される方は、フォームに限界があるんだとしたら、それと別にどここのホームページに詳細っていうか具体的な情報を書いていますよっていつどっかそのホームページを準備すればそれでいいんだと思うんですけど。単に素材だけじゃなくて、私もちょっともう1つ引っかかっているのは、デザインだけじゃなくて、結局、もしもこれを選択する側だったら、値段も知りたくなると思うんですよね。もしも、その全部が同じ値段だっていうならばそれはそれでいいと思うんですけど、大きな値段の差があるんだとすると、それは選択するとき知ってないと選べないよって、選ぶ側も思うと思うんですけど、そ

れも含めてホームページとパネルに表示すれば、あえて見たい人はそちらにいくでしょうし、そこまで時間をかけたくないという人はパッとした印象だけで決めるでしょうし、いかがでしょうか。

委員長：お願いいたします。

委員：今のね、お話って、オンラインの方でも適切に情報が伝わるようにという趣旨だと思うので、A4で1枚のペーパーをスクリレに掲載してパターンAの紹介、パターンBの紹介、Cの紹介という感じで、スクリレで見れる形とか、何かやりやすい方法をうまくとっていただければ、何でもいいのかというふうに思ってます。以上です。

委員長：はい、では事務局、お願いいたします。

事務局：事務局です。そのメーカーさんにちょっとお願いしたいかなと思うので、ポスターサイズの作ってもらうときに、今、これAタイプとかそれぞれ写真デザインありますよね。このデザインと特徴と先ほどの汚れ落ちとかの写真つきのと今回のタイプの値段を書いてもらったのをまとめて、1つにしてももらったのを作ってもらえれば、それを現場に置きながら、3つのデータをいただければ、学校さんにちょっと協力していただいて、それを学校のホームページで何か載せるようになれば、同じものになるのかなと。ちょっと見にくくなっちゃうかわからないですけど1つの説明のやつに全部載せてもらってデータをもらえれば、現場で見る、現場でもちょっとでかくなりますけど、同じものが見れるっていう形なのかなと。

委員長：メーカーさんいかがですか、今の事務局から案をいただきまして。

ママダ：はい。そのような形でご用意できますので、はい、ご用意させていただきます。

委員長：はい、ありがとうございます。大丈夫ですか、回答がありましたけれども、はい。

委員：はい別のところに情報、オンラインでも、あと物理的な学校でも提供し

ていただけるということであればいいと思います。はい。

委員長：はい、ありがとうございます。学校で提示するということであるけれども、そこに来られる方ばかりでない、その来られない方にも同じ情報を共有しなければ、アンケートに反映されないんじゃないですかという、ご配慮のもとのご意見だったと思います。それに対して、はい。事務局から対応いただきましての回答が、はい、メーカーさんからありまして、お願いしたいと思いますので、よろしく申し上げます。はい、お願いします。

委員：申し訳ありません。もう1点だけ。もう1点だけ重要なこと、お伺いしたいんですけど。この価格なんですけれど、前回の委員会で、メーカーさんの希望価格と販売価格が違いますというお話を伺いたかと思うんですが、この、今、提示していただいている価格は、どちらのというか、すいません、保護者の皆様に提示するときに、販売価格を提示していただいたほうが分かりやすいんですけど。できないですよ。そうですね。はい。そしたら、参考価格って書いていただいて。

委員長：ていうか、ごめんなさい、メーカーさん、ご回答いただくのに、こちらでそれは無理だって回答しちゃってる。なんか立場がおかしくなってますけれども。事務局が入ってきますね。事務局お願いします。

事務局：はい、事務局です。あくまでもお話しさせていただいたのはまず、メーカーさんの希望小売価格です。販売店さんは、今回さくらさんが扱いますよってというお話をいただいているので、今度はこのA、B、Cどれかに決まった後に、そのさくらさんがじゃあこれだったら、メーカーさんがこの価格なのでこれでいきますかっていうことになると思うので、現段階では、皆さんが買う販売価格をお出しするのは難しいかなと。なので、メーカー希望小売価格っていう形になるかとは思いますが。

委員：その金額に関しては、参考価格とかにして最終的な販売価格がこれと同一になるわけではありませんというちゃんと注記を書いて、大体の金額を

入れておけば、何とか円前後とか、程度とか入れておけば、確実にその価格になるわけじゃないっていうことを、多分、大小っていうか、高い、安い相対的な比較だけだと思っただけかな、見る側の選択としては。なので、それがわかる程度の情報と付帯条件がついていればそれでいいと思うんですが。

事務局：はい、事務局です。出すとするとメーカー希望小売価格の参考ですってということになるかなとは思いますが。あくまで希望小売価格なので参考価格としてとらえてくださいってということ等の注意書きぐらいになるかなとは思いますが。

委員長：はい、では、お願いします。

委員：結構悩みます、この価格の話って。

委員：値段に関してはパッと見たときに、どうしてもサイズアウトした後に、いっぺんにまとめて買うことが多いので、体操服って。この間も私、体操服買ったんですけど、値段が張るんですよ。なので、なんですかね、1個1個見れば、適正価格なんですけれど、すごく高いものではないんですが、こうまとめて買うので、気になります。すいません。

委員：はい。多分あれですね、この価格っていわゆるメーカー希望小売価格なので、というかね、下請法とかいろんな問題があるから、この値段で売れとは言えないわけですよ、あくまでも。だから、メーカーさんとしては、その値段で卸して、あとはさくらさんがどれだけマージン取るかって話なので、その一般的には、多分ね、その希望小売価格の通りやってくれるんだろうって思うんだけど、それをここでできますと誰も断言できないので、この値段というか、提示の仕方しか、希望という値段の提示の仕方ができませんという理解でいいですよ。はい。なので、あとはさくらさんに期待するという話かなと思います。

委員長：私の視線を読み取っていただいて、うまくまとめていただいたことに

感謝申し上げます。ありがとうございます。やっぱりね、細かく考えてしまくと、これは議事残りますけど、ちなみにいいですか、ちょっと質問して。4点セットまとめて買われたんですか。これから暑くなるけど長袖もジャージも、長ズボンも全部そろえた買い方をされたってこと。

委員：先日買ったのは、体操服の上下なんですけれど、どうしてもやっぱり洗い替えを考えると、2枚ずつ買いますよね、体操服。

委員長：うちは1枚でまわしてるので、それも決めつけての考えは、夜洗えば、次の日乾きます。とても乾きやすい材質で使われてますので、冬でも乾いてしまいますので、そこはちょっとごめんなさい、家庭によって違うということも前提のもと質問していただかないと、自分がこうだからすべてこうだっていう選択肢だって、多分今みたいな、そういうものがあると思うんです。

委員：そうなんですけれど。はい、そうですね。はい、うちの地区の方からのご意見というか、立ち話ですけれど、そういう意見もあったので、一応お話をさせてもらいました。

委員長：ありがとうございます。最後にでも今日お願いしようと思うんですけど、この後、ちょっと通学路とかPTAに関して、より意見をですね、ちょっと委員やってるんでしょ、ちょっと違う役割やってるんでしょって言って結構拾いやすいことが、拾うことあるんですけど、この場はその吸い上げていただいたことを解決する場では決してないということと、個人でそれを悩まれて、その地区とか、ちょっと耳にしたのでちょっと聞いてみましたってなってしまうと、これ全体をとらえて考えていただく委員会の場でありますので、これからやっぱり深刻化していく協議がより増していくんですね、内容的に。毎回やっぱりそういった形でいろんなご質問っていうのが入ってきてしまうと、やはりその決めるべきことがちょっと時間が逆にかかけられずに、そちらにいくということも、それも責任の1つとい

うことをとらえていただきたいと思います。耳に入ったことを何とか答えてあげよう、これも1つ責任なのかもしれません。ただ、この準備委員会は決してそういった場ではないというとらえ方も一理入れていただいで、一員としての役割を果たしていただけたらありがたいかなと思いますので、今のちょっと協議の中でもある通り、やっぱり体操服の洗うタイミングだったり、乾くタイミングだったり、家庭によって違う、そういったことを1つの参考としてやっぱ決め事に持っていかうとすると、やっぱり決まるものも決まらないという部分もありますので、先ほどですね、価格につきましては、事務局からメーカーさんへのお願いという部分をメーカーさんには回答いただきましたので、そのような対応をとっていただくことをお願いしたいのが1つと、委員から、まとめていただきましたことが、ちょっとすべて回答ということで終わらせていただけたらと思います。はい、事務局。はい、事務局どうぞ。

事務局：すみません、ちょっと一応確認なんですけれども、今回この3つのデザイン持ってきていただいているので、このデザインのままアンケートに入るのか。デザインに対して、その差し色を変えるのかというところが、今の状況だとどのデザインに対してもまだなにも、もしかすると決定的なところがないのかなと思っているんですけれども。このままの、持ってきていただいたままのデザインで、何も変えずにアンケートに行くのか、それとも、Aについてはここを変えたい。そういう部分がそろそろ欲しいかなとは、はい。

委員長：そうですね、はい。この後、移っていきますけど、ある程度質問も出て、もう見ていただいて、各自、ご自身の中でまとめてきていただいていると思うので、私の方から振らせていただいた形で、Aからですね、いこうと思います。

委員：今、事務局が言われたようにそれぞれ A、B、C に対して、このバリエー

ションを少し変更をするかどうかというのをまず、話をするのが1つと、あともう1つ私としては動議を上げたいことが1つあって、事前のオフラインでの、オンラインなのかな、打ち合わせでは長袖と半袖ではセットでしか選択しないということだったんですけど、今、現物を見させていただくと、長袖でよさそうなものと半袖でよさそうなものは、大分違うので、長袖と半袖の選択を分離することを提案したいと思います。

委員長：意見が挙がりまして、それに関して、特別何もなければそのような形で進めていきたいと思いますので、はい。あそこ、あれですね、セットという部分そこちょっと崩した、もう一度ってことですねっていうところで、当初皆さんから結構上がってきたのは、長袖とズボン、半ズボンのセットっていう、半分じゃなくて上下ですね。だったんですけども今実際見えて、ちょっと意見が変わられたという方、もしくは変わらないという方、ここでもう一度確認の意味で進めていきたいと思います。今のメーカーさん持っていておられますけれども、セットとなるところのこのパターンだったということですよ。セットとなると、この4つのパターンなんですね。

委員：多分、みんなが心の奥底で持ってる、組み合わせを変えたいと思ってる、私もそうなんですけど、上の半袖シャツの選択をもう少し自由にしたいということじゃない、私は少なくともそう思ってます。

委員長：半袖の色をね、色を崩していきたいということ。

委員：カラーの話はまたあるんですけど、そのデザイン、詳細なところであると思うんですけど、例えば、ある人が、Bのジャージはいいと思ってるけど、Bの半袖シャツは色つきで嫌だっていう、少なくとも私はそう思ってます。半袖シャツの選択肢に拘束されたくない、半袖シャツは半袖シャツで別に選びたいということです。

委員長：はい。すいません、事務局お願いします。



事務局：事務局です。おっしゃられることはわかりました。ただし、この A と C については白しかないんですね。白に差し色を入れるっていうだけで、白じゃない、そもそもの素材を B みたいに、フルカラーにするっていうことができないので、もう素材が変わってしまう。

委員：多分、私の言った意見を誤解されてると思うんですけど、あくまで半袖 T シャツの選択肢とジャージとか、下の半袖のジャージもそう、短パンもそうなんですけど、の選択肢を切り離れた。

事務局：それは分かります。ただその場合に今のお話なのは、半袖、半ズボンのタイプで、下のハーフ丈、クォーター丈は別として、この素材、A なら A でいいんですけど、半袖がちょっとっていう話になったときには、この今のミエンヌという素材のカラーがないので、B のタイプのペプライムトラックっていう素材しかもうないんですね、カラーにした場合は。素材自体が変わってしまうっていうことがデザインじゃなく素材がもう変わりますよっていう。

委員：それは認識してます。B の半袖を選んだら B のペプライムトラックっていう選択肢になるってことは理解してますし、半袖で、A の半袖シャツを選べばミエンヌになるっていうのは理解してます。それは、それで結構だと思えます。

事務局：分かりました。

委員：選択肢を、今、上下セットでこの組み合わせ、3 択しかないというのではなくて、はい、半袖シャツ、ないしは短パンも含めて、私は半袖シャツだけでいいと思うんですけど、別の選択肢にするということを言ってます、アンケートの中で。

委員長：はい、ありがとうございます。事務局お願いいたします。

事務局：事務局です。多分おっしゃられていることからすると、まず A、B、C を選んでもらった上で、じゃあ、選んだものについて半袖については、白

がいいですか、カラーがいいですかという次に行くような感じのアンケートなのかな、場合によっては。

委員：いや、それは違うと思います。あくまで、例えば A の半袖シャツのよさはミエヌだからというのと、このデザインと両方のセットで存在してるので、どれかを選んでそのあと色っていう話ではないと思うんですけど。

事務局：ちなみにその場合、下のハーフパンツはどうなりますか。

委員：そこは、議論すべきところで、ハーフパンツは、ある程度ジャージと今回のデザインはセットであるので、ハーフパンツのほうはジャージとセットの選択肢でいいのかなと私は思います。ただこの今回のデザインを見る限り、上の半袖シャツは別に切り離して他のものを入れてもそれほどおかしな話にもならないのかなとは思いますが。

事務局：下のハーフパンツがデザインと合っているのであれば、まず、選んでいただいた上で、半袖について今の A は白ですけど、白がいいですか、カラーがいいですかってのでは駄目ですか。下のハーフパンツは変わらないので。

委員：シャツも A、B、C という選択肢を作ってそこから選べばいいだけの話だと思んですけど、どうして今の 3 つにこだわられているのか、私には理解できないです。

事務局：すいません、シャツは A、B、C どれから選んでもいいですよっていうふうな選択肢を設けて欲しいということでもいいんですよ。

委員：そうです。

事務局：同じです、全く認識としては同じです。白とカラーっていう言い方をしたので多分そこでだと思んですけど認識としては、私たちも同じで、A、B、C のどれから選んでもいいですよっていうふうに、T シャツは選択肢を持って欲しいっていうことですよね。

委員：はい、その通りです。

委員：いいですか。

委員長：はい、どうぞ。

委員：今あれですよ、Aのデザインの話をしてたんですよ。はい、Aのジャージの質問していいですか。いいですか。はい。ごめんなさい、私、デザインのこと全然分からないんで、このベースの身頃の色にこの切換カラーのちょっと明るい青を入れてくれた理由をいいですか。

ママダ：Aですか。

委員：Aのほうですね、はい。これね、切換カラーの変更は可能なんだけれども、今、おすすめが多分この色だと思うんで。

ママダ：今回はですね紺色と、弊社と、今の中でも、やっぱりこのターコイズのものが、学生の中でもアンケートの中で一番人気があるお色になりますので、今回はブルーを入れさせていただいてます。

事務局：事務局です、メーカーさんにちょっと確認です。今、例えばAのデザインで半袖は差し色が入って、2,310円ですよ。この後、仮に今の話の中でアンケートした場合に、半袖についてはBタイプの、例えば、今、おすすめの黒に近い紺のやつがいいってなっても、それはデザイン性の問題に組み合わせの問題になっちゃいますけど、皆さんが良いと言えども販売上は問題ないってことでよろしいですかね。

ママダ：はい、問題ありません。例えばジャージはAタイプが一番の人気だったのでAにしました。半袖Tシャツは、例えばCタイプが人気だったので、Cのものを取り入れて、4点セットにしますということは問題ありません。

委員長：はい。それではすいません。時間をちょっと費やしましたがけれども、先ほど委員から上がりました内容ですね、こちらちょっとこの後のアンケートという、ちょっと項目に入ってくる部分におきまして、ちょっと当初の、あと皆さんのご質問、ご質問じゃない、まとめていくものにちょっと戻っていきたいと思います。まず、Aのジャージを見ていただいたときに、

今回持ってきていただいているデザインありますね。要は写真のところに載っているこの部分なんですけども、基本このままいきますか。まずはそこだけちょっとすいません、絞ってもらってよろしいですか。はい、じゃないとちょっとまた違ったことで混乱して、ここ、協議内容がちょっとずれてしまうっていうことをちょっと時間の関係上やりたくないの、まずここ見ていただいたときに、この4点、強く、何か変えて欲しいというご希望ある方のみ、挙手をお願いいたします。はい、お願いします。

委員：Aのデザインのターコイズブルーの部分を、Bのデザインとかで使われてる紫の色に変えることを提案します。

委員長：で、提案いただいたことなんですけども、この協議の内容で変えるということで、委員の方が一致した形で、変えるのか、いや変えずにこのままがいいかを決めていかなければいけないので、今、意向はわかりました。その出たことに対して、他の委員の方ですね、大丈夫ですか、先ほど聞いていた、その差し色の部分ですけど、何か、はい、ご意見がある方ですね、今、委員がご希望されたことに対して、いかがですか。多分、今、イメージされてるかとは思いますが、今度、多分校章のBのファイテン、うん、ここですよ、おっしゃった、紫という、うん、そこを変える色っていうのが、そうそう色ですよ、校章の紫色というか、そこに、うん。変えることを希望しますってことですよ。何か写真、この資料ですかね、資料とその実際の実物のやっぱ色合いがやっぱ微妙に違ってきてる部分において、今、委員がイメージされている校章のその紫の色、それがそのまま、この絵のジャージに同じ色で入っていくかっていうと、それは絶対な色では、同じ色で。

ママダ：はい。この生地をここにはめるようになりますので、全く同じ素材を使います。

委員長：その色で上がってくるんですね。

ママダ：そうです。

委員長：このファイテンの、この色で入ってくる。

ママダ：この生地を使わせていただきます。

委員長：ということです。そうなんだよね、イメージ。実は今日これは決めておかないと、この後、ここでまとめたものがこの後メーカーさんが、変えていただいてねっていうことに進めないんで、多数決で、ちょっとすいません。はい、すいません。

委員：事務局に質問なんですけども、この紫の色が、デザイナーの方からいただいたカラーコードと一緒にことで認識合ってますか。それ、メーカーさんともちょっと両方に質問なんですけど。

事務局：こちらからは、デザインしていただいた方から色の番号とかももらってるものでデータもらっているんで、それをお渡ししてますので、基本的には、ご確認いただいた上で、紫の色を持ってきていただいているというふうには認識してるんですが。

ママダ：校章のほうはインクがですね、この紙ベースのほうのインク指定、ちょっとこの生地に関しましては、またインク材違いますので、いただいたものからご用意できる紫の中で一番近いものでさせていただいてますので、ぴったり一緒かっていうのは、やっぱり材料が違えば多少違ってくる、はい。

委員：ありがとうございます。ちょっと校章のデザイン案を見てて、色味が大人濃いような気がしませんか、と思ったので、すみません。

ママダ：参考のデザインをパソコンで見たということであれば、皆さんお持ちのパソコンの明るさによって色味は違いますし、プリントアウトしたのもですね、弊社でご用意したものと、あと委員会のほうでご用意させていただいたものは、プリンターの種類によって色味の誤差は出てしまうものなので、はい、そこの誤差はどうしても致し方ない部分になってしまいま

す。

委員：ありがとうございます。

委員長：もっと極端に言えば、この距離と近くにいたときの紫の見え方ってやっぱり違ってくると思います。多分、その絶対同じっていうことでメーカーさんだったり事務局にぶつけてしまうと、データに基づいてやってるという以上の回答は、返ってこないと思いますので、いかがですか。大丈夫ですか。先ほど委員から上がりました、その差し色ですね、校章の紫って言うっていいのか、ちょっと決になります、決をとっていきます。もう決めていきたいと思いますので。あのままで、今のメーカーさんがあげていただいているこのままでいいですという方は挙手をお願いいたします。はい、どうですか、いくつ。

委員：8票です。

委員長：では、先ほど委員から上がりました、校章の色に、紫とちょっとこの場ではよろしいですか、言わせていただいて、というところで、という方挙手をお願いします。7、さっき幾つでしたっけ。

委員：8。

委員長：あらま。はい、でも、1は1なので、はい。もう決をとると、決めた以上、8票と7票ということでちょっと隣からの微妙となるとまた協議とかになってきて、いろんなね、始まると多分、今日は日付越えての会議になりますので、叫ばないでください。ではすいません、そちらでお願いいたします。今度逆にBですね、Bでやってましたっけ。要するにね、Bデザインっていうのか、Bデザインですけども、また先ほど委員がおっしゃっていただいたようなことをちょっと例として、そのような形でお伝えいただけると、伝わりやすいかなと思うところで、強くここ変えていただきたいという部分ですね、ある方は挙手をお願いいたします。

委員：意見とかではないんですけど、ここでファイテンをつけるか、つけない

かの選択肢があるってことでいいですかね。

委員長：今ここでね、はい。すごいなんか、今日この3人が圧が強くて、すごいちょっと嫌な感じ受けとめてるんですけど。めっちゃ強いので、はい、この場でね。はい。もちろんです。では、ここですね、入れるか、入れないか。小言でしゃべるのやめてもらえませんか。まずこの決ですね、委員からありました、そのファイテンの、これを入れるか、入れないかですよ。というところで、挙手で決めたいと思います。いいですか行きますよ。入れます、挙手。

委員：9票。

委員長：はい。入れません。はい、6票。諦めてはいけません。はい、では入れますという方が、9票ということで、ちょっとね、複雑になってきましたね、この決め方もちょっと自分で言っときながら重くなってきましたけど、その前に、今の話。はい、どうぞ。はい。

副委員長：多分、ファイテンのこのパターンが、ズボンが安いのが多分切换、このカラーが差し、ラインが入ってないからだと思うんですよ。他は全部ラインが横に入ってる、多分1,000円ぐらい高いのはそのためで、多分、トータルのコストを合わせるのに、これはズボンが無地になってて、ファイテンが入ってるっていう。ファイテンなしで紫を横に入れるっていう選択肢も多分あるんですよ、だから先に言いたかった。

委員長：ちょっとね、重要だよ。そしたらね、それ多分変わっちゃうよね、ファイテン。そうでしょ。じゃあ、ちょっと取り直しますか。だって全然違っちゃいますよ。この下のね、差し色が。

副委員長：せっかく上はカッコいいのに、下は無地なんですよ。

委員長：そうですね。入れられるか、入れられないか、そこ、まず基本はそこなんです、メーカーさん、入れられますか。

ママダ：はい。入れることは可能ですが、ちょっとご提示の値段からは変更

なります。はい。ただ、展示がすぐなので、デザインをどういうラインを入れるかをお選びいただく時間はあまりなくですね、まっすぐ入れるとか、何かもう、今日ご意見ありましたら。

委員長：例えば今日委員の中で、このような形で入れて欲しいですってということがまとまれば、それは。

ママダ：はい、いけるということで大丈夫です。はい。

委員長：そうすると、はい、どうぞ。

委員：下の柄を、柄というかデザインを入れる選択する時間がないっていうのはそれは理解するんですけど、だったら例えば、Aタイプの下の柄をBタイプの下にやるとか、その類似のデザインであればもうここで決められるんじゃないかなと思うんですけど。そんなにAの下とBの上でも、そんなに変な感じでもないような気がしますが。

委員長：メーカーさん、すいません、今、委員から上がりましたのは、その入れ方で、こちらのBのこの下に、要は入れていくというこういう決め方であれば大丈夫なんですか。

ママダ：それでご用意させていただきます。

委員長：事務局お願いいたします。

事務局：事務局です。今のおっしゃる、今、時間がないということなので、多分そういうご判断かと思うんですけど、私からは逆に、メーカーさんが決めてきたデザインがあると思うので、この時間の中で、今の話の差し色の紫を入れるとなると、この上に見合ったデザインとして、下に入れるのが今だとかこういうデザインができる中でこのデザインが一番いいかなっていうのと、そのタイプになると、この今、130のサイズだと3,080円ですよ。それに上乘せどれだけなるかっていうのが、今、言っていたら。あとデザイン的に、値段はあとでってことになれば、デザイン的に上と合うのが考えられるのは、すぐできてこれっていうのがあれば、今言っていた



だけると。

委員長：今、事務局から上がりました、やっぱりデザインをメーカーさんがやっぱそのプロ意識でこう考えてきていただいたこのバランスっていう部分で、それをじゃあデザインをじゃあ仮にこう変えるだけでってなると、っていうところがやっぱり心配で、この案を挙げたご自身がちょっと隣で悩み出してるんですね、ここのBのこのファイテンも、ちょっと、右側の袖の方が、カラーが入って重いというか、そうするとこの下のパンツに両方ともこう入ってしまうと、左、色がですね。左に座ってる委員の言葉からすると何かばふん、ばふんみたいな、イメージがだから重いつて感じになるんですって。だから、確かに先ほど事務局から上がったように、やっぱり決めてきていただいたこのデザインというのは、やっぱり考えられてるのかなっていう部分で、やっぱその色の入れるところ1つによっても全然やっぱこうデザインが変わってきてしまう。それが今日見れない。けどもここでそれを決めていくっていう、そこに、という部分なんですね。そうです、ごめんなさい、メーカーさんいろいろ。

ママダ：デザインのほうは私たちのほうからいくつかご提出しまして、その中の1つという形でお選びいただくのはもちろん構わないのですが、今、現段階にはなりますが、これ作り直したものを7月の5日か6日までに持ってきて欲しいというご要望をいただいております、それですとちょっとデザインを選んでいただいて、うちから提示して、出し戻していただくのにちょっと時間がなさ過ぎますので、その提出期限が13日からアンケートとなっておりますので、こちらを5日とか6日ではなく、いつまでもう少しお時間をいただけるのかなということと、デザインを私たちの方から2、3点提示させていただいて、皆さんで一度ご検討する形の時間を、いつ私たちの方に教えていただけるのかなという。

委員：はい。一旦ちょっとその質問の対するリアクションの前に、この無地に

していただいたのは、コストが理由なんですか、それともデザインコンセプトからして無地にする理由があったのかというところをちょっとデザイナーの視点でご意見いただければと思います。

ママダ：そうですね。パンツに関しましては、コスト面はもちろんあるんですがジャージのほうにポイントをつけておりますので、下はすっきりとしたものにさせていただきます。一応 T シャツのほうも、今、全く学校様のマーク入ってませんので、独自という形にはなっておりますが、T シャツのほうにマークをつけたりすると、こういった形のシンプルなものの方が、年齢が幅広くなっても着やすいのではないかと思います、私達の方ではこちらでご準備させていただきます。

委員長：ちょっとごめんなさい、決採った後もね、何かこう協議になっておりますけど。ちょっともう一度、はい、リセットしていただいて、ちょっとこの辺でもう一回絞っていく時間がもうとうに過ぎてるんですが、もう一度ね、ちょっと決めていきたいと思います。ちょっとね、つぶやき拾って皆さんに公表すると反省に立ったりとかするので、あんまりちょっと触れたくないんですけど。今、言った理由は、上を脱いだときに、半袖無地になった場合、その無地、無地、無地みたいな、それがちょっと懸念されていうつぶやきをちょっと拾ってまして、私がマイク越しに共有しておりますけど、そこがちょっとやっぱりね、何て言うか、あれね、あのあれが目立ってる分にはいいんですけどってことなんですよね。

事務局：すいません、よろしいですか。

委員長：はい。事務局、はい。お願いします。

事務局：下にラインを入れるか、入れないか、まずそれを決めていただいて、もし入れるというのであれば、やはり先ほど、メーカーの方もおっしゃったように時間がやっぱり限られてますし、今日この場で、じゃあどういうふうなので皆さんが総意でじゃあこれでっていうのもなかなか難しいかな

と思うので、もう入れると決めたときには、もうそこについてはメーカーさんにお任せ。もう一切そこに、それについて上がってきたラインが入ったデザインについて、それについてはもう、委員の方からの意見は申し訳ないですけど、反映したりとか、また、メーカーさんのほうにお伝えするっていうことは、もうちょっと多分難しいかなと思うので、それを皆さんがご承諾いただいた上で入れるっていうことであれば、私たち事務局の方も、メーカーさんの方に提出いただく期限をやはりちょっと余裕を持って、7月の2週目の前半でというふうにお願いしてたんですが、ちょっと最悪、11日の月曜日ぐらいまでであれば、こちらでも何とか、ただ、委員の皆さん方に画像としておそらく確認していただくだけになりますので、本当に直前、アンケートが始まる直前ぐらいに、このデザインでもアンケートかけますっていう形でのお知らせになりますので、そこをすべてご了承いただいた上で、線を入れるか、差し色を入れるかどうかというのを決めていただいたほうがいいかなと思いますので、まず本当に入れるか、入れないか、入れるんだったら、今、お話をさせていただいた内容をすべて皆さんがご了承いただいた上でっていう形になるかなと思います。

委員長：はい、では事務局があったことがすべてとして受けとめさせて進めていきたいと思いますので、まず下のパンツですね、そこに、入れるか、入れないかです。はい、入れます。挙手お願いします。5票。はい、では、すいません、入れません。はい。9票。はい、ありがとうございます。では結果は以上になります。入れません、このデザインで決定ということでご了承いただけたらというところで、いきたいと思います。いろんなね、こういったね、案を出しながら1つ1つに思いがね、寄せられていくので、ファイテン入れてまとめますね、上あのままですよ、要は、あのままです。

事務局：このままですか。すいません、委員長すいません。先ほどの決った時に、今日15名いらっしゃるんですけど、多分数えると14名、もう1回、

そうですね、はい。もう1回だけちょっと確認取ってもらっていいですか。

委員長：じゃあもうこの時間みんな目がかすんで。もう1回行きますね。何、下のズボンだけ。線を入れるかじゃないですか、下のパンツそのまま、もうちゃんと参加してください。下のパンツですね。色を入れませんか、つまり、あのままですっていう方、挙手お願いします。10でよろしいですか。10でございます。では、入れますという方しっかり手を挙げてください。駄目です。これが大事なことです。はい。5票。5票でございます。合計合いました。ご理解ください、ありがとう。ちょっとね、あやしい学校になっちゃいますから。はい、では以上で、このままのデザインで、はい。とんでもないね、もうね、いろんなね、ご意見いただきながらね、私たちにも何かプレゼント欲しいね。これ決まったときに。ではCデザイン参ります。ここですね、Cはどれでしたか、校章のやつで、実際はちょっと違ってくるということでしたよね、メーカーさんね、なのでそのイメージになるんですよ。実際は校章の紫っていうところでもよかったですか。

ママダ：はい。今、水色になってる袖のラインと襟の裏側、あとは脇の切換です。こちらの部分とTシャツの袖のラインが、こちらの紫の色に合わせたものに、はい、変更されたものをCタイプとしてご準備させていただこうと思っております。

委員長：はい、では、こちらをちょっと整理していただきまして、ここに、また、こうして欲しいですという、ちょっと言葉も出なくなってきた。挙手をお願いいたします。ございますか。ありませんように。はい。メーカーさん大丈夫ですか。皆さんございませんか。どうぞ。

委員：これだけジャージの前が全開きなんですけど、それは皆さんよろしいんでしょうか。今までの2つは、サンプルとして出たのは、半チャックなんですけど。

委員長：それ、この後決めるんです。どのデザインも全開きにするか、そこで、

そうですね。これだけが全開きにするとかではなくて。

委員：なるほど、分かりました。

委員長：そうだと思います。必ずそのチェック対応ということで、でよろしかったですね。はい。半開きと全開きっていうことでね。はい。では、このCに関してはもうこのままということで、皆さん、よろしいでしょうか。一応、すいません、先ほども議事録についていうことがあったので、ちょっと数字で上げていきたいので、あのね、全員一致がこれが初なのかしらってということで、手を挙げてください。お願いします。教えていただいて。

委員：15です。

委員長：はい、では、全員一致で15で決まりましたので、ではCのデザインに関してはこのまま、はい、いきたいと思います。一応ここまでデザインにつきましては、決まりました。はい。ちょっとすいません、もうね、私のちょっと計算で今頃もう終了で帰ってる時間になってたんですけど、思いのほかね、でもやっぱり熱い協議って、なかなかね、大丈夫ですか、皆さん、ちょっと自宅がね、気になる時間になってきたと思うんですけど。ごめんなさい、ちゃんと見てますよ、ごめんなさいね、触れられない。次ですけれども、事務局、そうですね、皆さんメーカーさんのご質問とかも、大丈夫ですか、お帰りいただくような形で、あとは大丈夫でしょうかね。はい。では、すいません、はい、お願いします。

委員：メーカーさんにお問い合わせといいますか、確認していただきたいんですが、資料を作っただけということなのですが、その時に、値段がこんな感じで入るんでしょうか、値段はどんなふうに入れるのかなと思ったんですね。

ママダ：値段はどのように表記したほうが事務局の方、このままのが、よろしいですか。

委員：なんか-600とか800とか、そういう何か計算したぐらいだったら思った

だけ。

ママダ：今回デザイン、展示する価格は展示したもののみのお値段のみの表記になりますので、今回、Aタイプであれば、半分のファスナーで裾がつぼんだものの値段のみの展示になります。ということでよろしかったです。

委員：はい。だとすると、このCタイプは、やはり高いですね。何て言うんですか、このオープンなので、そうすると高いなっていう錯覚のようなものに陥るのではないかなという気がするんですね。それはそれでしょうがないんでしょうけど、だからそれだけサンプルを出していただいて、その価格だけ表示するっていうことであれば、このCタイプは高いのかなっていうことになってしまうのかなっていうのがちょっと不安かなと思いましたので、何か、本当は時間があれば、全部、この一番左側に合わせていただきたいとか、そんなふうに思ってたんですけど。特にCタイプは、色が変わるのであれば、作り直すのではなく。

ママダ：前回お伺いした際に、この全部のファスナータイプも見たいし、半分のファスナータイプもみたいなというお声いただいたので、今回まぜて、全部違う形で、バラバラにお持ちしてますので、今回Cタイプこれから紫に切換を変えてお作りしますので、半分のファスナーのスタイルでお作りして、半分のファスナーの金額を全部お載せして、800円マイナスした形と600円マイナスした形のどちらかで統一して、展示させていただいた方がよろしいですかね。

委員：はいその方が比較できるのかなと思うんですけど、ただ、その反面、オープンはこの感じだよっていうのがわかんなくなりますよね。だからその辺どう考えるかだと思うんですけど。あと、何か袖がいろいろありましたよね。そうですね。それを含めて、はい。なので、価格表を出していただくのであれば、例えばボックスとフライスではどれくらい違うのかっていうのがやっぱり入ってたほうがいいのかもしれないし、何か皆さんに

わかりやすくなるように。

事務局：はい、事務局です。よろしいですか。多分、おっしゃられてるのが、例えば、今、Cタイプでいうと、前半分と全オープンと、ボックスとボックスじゃないのかっていうことがあるので、アンケートのことに對してこの後取るのに、ボックスかボックスじゃないかもうここで決めてしまうってことになれば、次は、半開か全オープンかっていうことの話になるので、それについては聞くだけのアンケートを用意する。例えば、価格としては半開のだけを全部そろえてもらって値段を出してもらって、見本としてはオープンを出してもらおうとかっていうことが、今度なると思うので、選択肢が多分減ってくる形で、もっとわかりやすい、統一的な形ができるかと思うので、そこの部分が今度アンケートの内容としてやる場合の、ボックスか、ボックスじゃないか決めちゃうか決めないかで、今度、実際のアンケートのときの表示の仕方が変わってくるのかなと思うんですけども。それについては、この後、決まったことについては、我々メーカーさんにお伝えすれば、メーカーさんにはその通りに作ってもらうだけになると思いますので、今この場については、ここでメーカーさんに帰っていただくことで、大丈夫であれば帰ってもらいますし、逆にメーカーさんがこれをちょっと確認だけしたいということがあれば今言っていたいて、もうお帰りいただくかどうかだと思うんですけども。

委員長：メーカーさんから逆にこっこの委員に對して何かございますか。

ママダ：ちょっとパネルを作成するにあたって、ちょっと私の方から最終の確認なんですけど、今日の議事いただいている中に、1、2、3で投票してくださいっていうような表記になっておりまして、私たちの方、A、B、Cで、作ってしまってますので、小学生向けですかね、にはA、B、Cを1、2、3に変えてしまったほうがよろしいっていうことですかね。はい。

事務局：事務局です。おっしゃる通りで、1、2、3で当て込んでいただいて、

はい、お願いします。

委員：はい。ちょっと逆に委員さんにお伺いしたいんですけども、アンケートを採るのに、素材を取るか、取らないかって話と関わると思うんですけど、これ例えば A 案をウインドガードで作るみたいなことが対応可能なのかわからないのかだけ教えていただければいいのかなと思ったんですけど。

ママダ：はい。例えば、A のデザインで B の素材を使いたいということは可能にはなりますが、出しているお値段も全く 0 から考えていただくことにはもちろんなってしまいますので、ご了承いただければ。

委員：ありがとうございます。

委員長：それアンケートのこの後の項目になって、その素材に関してのちょっとアンケートは、よかったです。ご理解いただいて。なので、ちょっとスラックで回答しなかったんですけども、ごさいませんということでご理解いただけたらと思います。委員ありますか。はい、どうぞ。

副委員長：先日はありがとうございました。シャツの色をお願いした手前、そのあと考えた中で、今回、ペプライムトラックの中のカラーをいただいたんですけど、これホワイトもサンプルにのつけていただくことは可能でしょうか。うん。

ママダ：はい。同じ素材の白ということですか。デザイン画の中に入れるということ。

副委員長：はい。

ママダ：はい、大丈夫です。

副委員長：わかりました、ありがとうございます。

委員：はい。もう今日一色に選んで、可能であるなら白を選択してっていうことになるんじゃないかなと思います。

副委員長：ありがとうございます。はい。

委員長：多分、今のご意見はそのメーカーさんっていうよりかは、委員ですよ



ね、最後にご丁寧にご説明いただきましたけど、この後決めるときに4種類から、選択肢が4種類になってしまうって、皆さんにその、でも実際やっぱ見てから決めますってねいう方がいて、上げてこられてない、実際見るとやっぱAは黒ではないんじゃないですかっていうところもあって、今混乱した中でここに白なイメージで入る選択肢入れるか入れないかっていう部分で入れてもいいんじゃないですかという部分で、白ということで決を取ってくるのは、メーカーさんへの質問ではないので、今、事務局から確認ということで、メーカーさんにここでお帰りいただいてよろしいですかどうかということで私たちがここで、はい、決断いかないと。メーカーさん、はい、お願いします。

ママダ：すいません、先ほどペプライムトラックの白があるというふうにすいません、お伝えしたんですけども、実際のところ、ペプライムトラックの白というのは、私どものほうでご用意はできるんですけども通常はないんですね。かつ、白、真っ白をここでご用意してしまうと、ミエンヌという、汚れにくい、かつ、こういう機能があるものとは全く違う、本当に通常のも物が出てきてしまいますので、できればペプライムトラックという色は、もうこのカラー展開のみという形で統一していただいたほうがいいかなと思います。

副委員長：ありがとうございます。

委員：この後、決を採るんだと思うんですけど、半袖シャツとジャージは、分けて選択するっていうことなので、白がよければ、AとかCを選ぶ人が多いんじゃないかなと思う。

委員長：多分、白に関してはメーカーさんは、その作られ、実際ないんだけどもご要望があれば作りますってことは、性能がやっぱり変わるわけですよ。やっぱ値段が下がって、ごめんなさい、性能と一致してないんだよ値段が、ずれてきちゃう、値段一緒なのに性能が下がってしまうことが起

きるってことでしょ白に関してだけ、それを、まあまあ、それでも入れていいんじゃないですかってなるかもしれないんですけど、そこにどうなのかなっていうってことですよね。そんな対応しかできないってことで理解してよろしいですもんね。はい。原則、多分このもとの、いいですよ、委員のアンケートに、先ほどのね、別でね、色っていうのはそれはまた別ですよ、なんですけど、今ここに関してのこの B のデザインのカラーに何かカラーを入れる建前ってあるんですけど、実は皆さんお忘れかもしれませんが、これ墨汁問題の私から入ってきていることでありまして、ここはカラーをしていくという部分に何のぶれもございません。なので、皆さんの方で、値段は一緒なのに性能変えてまで白の選択肢を、おっしゃるそのアンケートにも入れたらいいんじゃないですかってことなんですけど、そうなる就先ほどのどこまで伝えるというところで、ここだけどういうふうに伝えていくかとか、もっと細かい問題がいろいろ今度、多分、時間かかるものが出てくると思うんですよね。これだけ違う、そこを踏まえてまで白を入れたほうが、入れていく。

委員：私の言ったことが多分伝わってないと思うんですけど。Bタイプは、そもそも、行うアンケートが半袖シャツとジャージを別にするのであれば、半袖シャツはAとCで白があるので、Bを無理に白を作らなくてもいいんじゃないですかということをつもりなんですけど。

委員長：じゃOK。副委員長は。

副委員長：メーカーさんから回答頂けたので大丈夫です。

委員長：メーカーさんからの回答でご理解いただけたということで、ちょっとごめんなさい、白はなく、この3点からこの後絞るということで、当初予定していた通りいきたいと思います。ではよろしいでしょうかね、メーカーさん、お時間を長くまで、はい、お付き合いいただきましてありがとうございました。事務局にですけどメーカーさん、以上をもちまして、はい、

お帰りいただく形でありますので、お願いいたします。ありがとうございました。

委員：すいません、一瞬 B の半袖シャツの色をもう一度だけ見せていただけますか。この3つで、今この紙に並んでいる順番に今並んでるんですね。赤い、赤く囲ってあるのが一番左の多分ネイビーのカラーで、真ん中、割と鮮やかな青でそろえるですね。

副委員長：ネイビーは全く同じ色ですか。

ママダ：違います。はい、糸がジャージとは違うものなので、全く同じ色には染まってませんので、ネイビーという大きな括りで、揃えさせていただいてます。ちょっと近くで見ると、ちょっと違うと思います。

事務局：じゃあ、よろしいですかね、メーカーさんの方にご退出いただいて、はい。すみません、長時間にわたりましてありがとうございました。

委員長：また引き続きよろしくどうぞお願いいたします。ありがとうございました。まだ間に合うからね。すいません、決めていきたいんですけども、B のね、ごめんなさい、ちょっとおそらくブラックとありますがちょっとネイビーに変えさせていただきたいと思います。で、スラックであげたけれども実際これ見て変わりますという方は、取りますので、ではネイビーからいきたいと思います。ネイビーを希望されるという方、挙手をお願いいたします。お願いします。

委員：4票です。

委員長：では、Bのブルーです。ブルー。

委員：9票。

委員長：ありがとうございます。最後、スカイブルーお願いいたします。1票。あげましたか。

委員：私色のセンスないんで、意向なしで。

委員長：あ、ごめんなさい。そうでしたね。意向なしでした、ごめんなさい、

てことは、意向なし1ということでありました。ありがとうございます。  
4、9、1、1。1、1の最後に一応、意向なしということで、9が入り  
ましたブルーということで、Bの、はい、半袖カラーは決めさせていただい  
て、よろしいでしょうか。はい。

副委員長：お伺いしたいんですが、私、先日からカラーがいいんじゃないかっ  
ていうことでご提案させていただいたんですけど、逆にホワイト色のほう  
がいい、例えば逆にカラーがいいっていう、おすすめというか、お話をい  
ただければと思います。すいません、個人的な意見でした。ありがとうござ  
います。

委員長：ちょっと、すいません、学校からのちょっとご意見とか聞きたいとき  
にはちょっと事前に委員長としまして、学校さんのやっぱり回答のご準備  
って、やっぱりあると思うんですよね。どうしても学校には言いやすいよ  
うな環境が保護者ありますので、ちょっとそこすいません、準備委員長離  
れてのPTA会長といたしましてのお願いがあります。なので、多分苦笑い  
されたところはあまりコメントがね、そこを察していただければという、  
ごめんなさいね、私見つめられてますけど、私のこのフォローが間違っ  
ておりましたら申しわけございません。ただ一応そういった立場であるとい  
うことをご理解いただければと思うところです。すみません、では事務局  
なんですけども、ちょっとデザイン、Bの体操服の色が決まりまして、アン  
ケートについてのご説明、この後、アンケートの説明いただいてから、こ  
こで決めるか決めないか、うん、とっていきたいと思います、はい。

事務局：はい。事務局です。そうしましたら資料の2をご覧くださいまして、  
体操服のデザインの決定スケジュールというところなんですけれども、本  
日6月17日金曜日が第9回の委員会ということで、体操服のサンプルを見  
ていただいて、アンケートにかけるデザインへの決定をしていただきまし  
た。この後はですね、いただいたご意見のほう、基本的にはメーカーさん

の方が提示してきたデザインでいくというような形になりますので、この後は、アンケートフォームの調整のほうに、入っていくような形になるかなと思います。そのあとですね、7月の13日から実際にアンケートの実施を予定しております。赤字のところでは20日が終業式となっておりますので、児童に関しましては終業式前からの開始という形が必要かと思ひまして13日という形でスタートを切らせていただきたいかなと思ひております。保護者面談の期間が25日から29日にありますので、保護者の方についてはこの期間学校に行かれる方、ほぼ学校に行かれる保護者の方が多いということでしたので、ここで見ていただくというような形ができるのかなということ、この日程を案としてお示しさせていただいております。そのあとアンケートの結果確認と、準備委員会さんの方で体操服デザインの最終決定に向けた調整ですね、校章を入れるのかとか、細かい部分のところの調整をしていただいて、メーカーによるデザイン補正の後に、9月に、体操服の決定というようなイメージをしております。すいません、駆け足で申し訳ありませんが資料番号3になります。実際に体操服デザインに関するアンケートの方法というところなんですけれども、こちらにつきましては、対象者は児童と保護者の方、サンプルの提示場所につきましては島名小学校さんの施設内という形で、一応学校さんの方には場所の提供をお願いするような形で今調整をしていただいているような形になっております。回答方法につきましては、児童については、児童向けアンケート用紙案というふうにあります、アンケート用紙に回答し、島名小学校さんの学校内にですね、専用回収ボックスを置かせていただきましてそちらにすべて投函していただくと。保護者の方に関しましては、グーグルフォーム、こちらでご用意させていただきまして、1家庭1回の回答というようなことを想定しております。米印1番なんです、回答に応じて別のセクションに移動させるアンケートフォームの構成を想定というふうにかかせてい

ただいているんですが、デザインによって、チャックの半開とか全開、それぞれ対応できるパターンがいろいろあるのかなと思いましたので、こういった形でアンケートフォームを構成するようなイメージでおりましたが、基本的には全部のタイプでチャック、半開、全開とか対応可能という形になりますので、ただ、デザイン選んだ後に、それぞれチャックのタイプについてとか、進むタイプについてっていうふうな形で、質問進んでいくような形を想定しております。実施期間につきましては、先ほどご説明させていただいた通り7月13日水曜日から7月29日の金曜日というような形で、想定しております。こちら米印2番については、島名小学校様より体操服アンケートの協力について、案内文をご配付いただくというような形になっております。通知方法につきましては、児童については担任の先生よりお知らせ、保護者の方につきましてはスクリレ及び緊急メールにて通知させていただくような形を想定しております。アンケートの質問項目ですが、児童につきましては、本当にデザインのタイプのみ、デザインだけを選んでいただくような形の下のアンケート用紙案ですね、本当に1番、2番、3番どれがいいですかと見たものを1つ選んでいただくと。保護者の方につきましては、今事務局のほうで想定している質問項目としましては、デザインのまずタイプ1、2、3どれがいいか、そのあとにチャックのタイプ、全開、半開どれがいいか、上着の裾タイプはゴムあり、ゴムなしのどちらがいいか、長ズボンの裾タイプはゴムあり、ゴムなしのどちらがいいか、そして先ほど委員の方からもご希望がありましたが、Tシャツのタイプについてですかね、こちらを追加で入れるような形になってくるのかなと思います。下のほうの児童向けアンケート用紙の案というふうなところで、一応こちらがアンケート用紙の案になっております。今回、こちらのアンケート用紙のほうなんですけれども、事務局での集計の関係もありますので、学年を右上のほうに入れさせていただいております。そ

それぞれの学年を記載させていただくような形になるんですが、それ以外にもし準備委員さんのほうで、それ以外の項目で入れて欲しい、入れたほうがいいと思うような項目があれば、この場でご提案いただければ、こちらのほうでアンケート用紙については修正させていただきたいと思います。また、質問項目についても、保護者の方に対する質問項目についてもこれ以外に何か追加したほうがいいもの、先ほど少しお話ありましたが、準備委員会でもう決めてしまうので、この項目はあえてアンケートには入れないでいい、そういったものがあればこの場でお伝えいただければと思います。以上になります。

委員長：はい、ありがとうございます。それでは事務局からアンケートにつきましてご説明をいただきまして、スラックにおきましてはですね、このゴムありか、なしかというところで、準備委員会で決めていきますか、アンケートでっていうところなんです。ちょっとスラックで答えていただいたときとちょっと考えが変わりましたという方がいる場合にはちょっと違ってくるんですけども、委員会までに考えておきますという委員がですね、どちらの考えにいくかによって、実は今5、6なんです。5と6で、委員にすべてがかかっておりまして、ゴムありか、なしかを準備委員会で決定しますということで回答いただいている方が6名。保護者アンケートで、それは決めていただいたほうがいいんじゃないですかと、答えられた方が5名。私の集計が間違っていないのであれば。先生方はね、ちょっとここは保護者に関する事なので、やっぱり先ほどおっしゃったようにやっぱり学校の先生のやっぱ意見とかが反映されてしまうと、ていうところもあります。ちょっと必要のご意見を取りたいときには、ちょっとこちらでご協力をというところで申し訳ないんですけども、ちょっと同じようには考えていただくのは申し訳ないんですが。いいですか、委員、決まりましたか。

委員：確認なんですけど、はい。アンケートを採るか、ここで決めるかが6対

5でいいんですよ。その先、どっちかっていうのはもしもここで決めるっていうことであれば、そのあと今日ここで実際にまた投票するということですよ。

委員長：間違いございません。

委員：ちょっと悩ましいんですけど、私自身は別にどっち、こんなこと言っちゃいあれですけど、裾があるかどうかは、実はどっちでもいいかなと思っていて、かつ、来る前に妻にも聞いたんですけどどっちでもいいと言われて困ってしまってるんですけど。ただ、決め方ということであれば、私は、ここで決めるのほうがシンプルでいいかなと思うので、ここで決めるになる。

委員長：なるほど、ありがとうございます。てことはゴムあるか、なしかをこの準備委員会で決定していきますということに、1票いただいたという、はい、受けとめ方で、ようやくよかった、何かはいつ言われるとなんか安心するね、さっきから何か私にちょっと攻撃やってきて。ということは7票ということで、ちょっとごめんなさいね、アンケートってなったらここで終わるかなと思われた方もいらっしゃると思うんですが、ちょっと協議続いていきまして、要はゴムあるか、ないかなんですね。これはまたいろんな考え方あると思うんですけど、もういろんな角度から考えてたら本当に多分、今日、日付変わっていくと思うので、その辺の時間の意識も考えていただいて、あと、今までやっぱり時間あったわけですので、事務局から資料あげていただいてから考える時間って忙しい中にもあったわけですから、改めてここで考えていくということでのスタートではございません。そういったところをちょっとご理解いただいて、また何か質問ですとかってなってしまうと、もうメーカーさんも帰っていただいているので。

事務局：事務局です。ただいまのお話からすると、ゴムありか、なしかっていうのは決めるっていうことだったのであれば、上はまずボックスか、フラ



イスかをここで決めるっていうことだったんで決めていただいて、下については、このストレート、セミストレート、スレンダーかホッピングなのかを決めるっていうことだったので、ここで決めていただいて、その上で、仮にホッピングじゃないタイプにした場合には、この3つについて、ここで決めるか、アンケートで決めるかっていうのを決めていただくのかどうかってことですかね。

委員長：皆さんよろしいでしょうかね。今の事務局が説明いただいた流れで、はい、決めていきたいと思いますが、長袖、上着から入ってきたいと思っています、ここ2つですもんね、フライスカボックス。どうぞ。

委員：フライスはゴムあり。

委員長：はい、そうです。

委員：ボックスはすとん。

委員長：ということでご理解いただければという、思うところです。決でいいですか、よろしいですか。もうお時間はいって大丈夫ですか。そうなの。はい、決まってるって。先生は大丈夫です、見守っていただければ。親だけで、なのでこれ同数がね。そこは出てから考えますか、大丈夫です。ではいきます。ボックスからいきますね。では、ごめんなさい、ボックスをご希望されるという方、お願いします。ゴムなしで、はい、ゴムなしを希望されるということ。数えてもらっていいですか。

委員：6票。

委員長：同数。ご協力いただくことは可能ですか。

委員：もちろん。

委員長：そう。ボックスということで、ごめんなさいね、突然そんな聞いてないような話。じゃあ相談なしで、個人で目をつぶっていただいて、ひどい保護者だと思っていただいて結構です。ではボックスご希望される方、ボックスご希望される方、挙手を。どうしてあげるの、どうして入ってくる、

やめてくださいもう。

委員：ボックスというのは何もないもの。

委員長：何もなくない、紐もない、ゴムがない、何か。あります。じゃあ全員でもう1回いきます。わかりました、ではいきます。先生方、お願いがごめんなさい、急に。ではボックスご希望されるという方。

委員：9です。

委員長：OKですか。はい、では、フライス。

委員：6票。

委員長：ではボックス9票ということで、ボックスタイプ、上、受けすぎですよ。では、よろしいですか上着の方、ボックス。ボックスタイプに決定。タイプに決定ということで、ごめんなさいねえ、下ですね。これ、そう思ったんですよ。そうなんです、言おうと思ったんですけど、そうなんです、よろしいですか、上がボックスって決まった時に、下のイメージがね、やっぱり出てくると思うんです。それ今言おうとして、笑いに持ってかないでよ、時間押してるんですよ、お願いします。なので、そうなの、いるかもしれないじゃないですか、世の中にね、というところを踏まえて、これ決をしてというところで、すみません、わかってはいるんですけど、これやっぱり案としてね、受け過ぎです。取らせていただきたいと思いますので、笑われたからといって自分の意志を変えることはございませんからね、どんな形であれ自分がこうと思ったところに手を挙げてくださってということで、全部聞いていきます。左端から。

委員：まず、ホッピングか、ホッピングじゃないかという選択肢。

委員長：そうそう、いい人からいきます。はい。ホッピングがいい人、手を挙げてください。

委員：上がボックスと決まったうえでの選択ですよ。

委員長：もちろんです。先ほどそれはもうお伝えしまして、これだけ笑い出ち

やったから思ってももう手あげられない人が出てきてる。そういう雰囲気作っちゃう。で、ホッピングはなしというところで、よろしいですかね。うん。次ですよ。ストレート、セミストレート、うん、スレンダーをここで決め、うん。

委員：1つ質問。1つ質問なんですけど、今の島名小学校のジャージの下っていうのは、ホッピングじゃないタイプ、つまりゴムがないタイプだと思うんですけど、あれはストレートなのか、セミストレートなのか、スレンダーなのか、しまったな、あの人がいるときに聞いとけばよかったな。

委員：ストレートじゃない。

委員長：とりあえず、前に持ってきてもらって。ストレートですよ。進めちゃいましょう。では、あとね、ここで決めるか、決めませんか、最初のやつですよ、要は。

委員：この3つをアンケートで聞かれても、実物を3通り見ない限り、多分父兄は困っちゃうと思うので、もうここで決めちゃったほうがいいと思います。

委員長：決めるか決めないからだっていう、もうね、もうそこでちょっと、マイク通さないでこうしゃべっていると時間だけがどうこうしますので、意見ある方はちょっと手を挙げてのご意見という形でちょっと委員会の場ですのでお願いできればと思います。なので、準備委員会の中で、決めたほうがいいという委員の、先ほどご意見がございました。ということで、同じですという、この場で決めていきましょうという方挙手をお願いいたします。ありがとうございます。では、ちょっとね、1人なので手を挙げてくださって言いづらくなってきた雰囲気があるんですけど、何か、すいませんアンケートで決められた方がいいんじゃないかということで、はい。考えられる方、挙手をということで、ありがとうございます。はい。ということで、挙手のもとこの場でということになりました。この後、3つか

ら、そうです、3つから取っていきたいと思いますので、もうお考えをまとまってらっしゃるんですか。左からいきたいと思います。はい、よろしいですか。ストレート。13票でストレート。では次、セミストレート。ああ、よかったじゃないですか。2票ということで、一応読み上げますか、スレンダー。0。という結果になりました。はい。で、ストレートという形の長ズボンという形での、決まりということよろしいでしょうかね、はい。あとはハーフパンツかクォーターかってことで。

委員：でもそうすると、今日質問したときに、ハーフ丈のほうがクォーター丈より長いって言われてて、セミハーフより短いクォーターは。

委員長：マイク持ってる人のみ話してもらっていいですか、はい、もう一度よろしいですか。はい。

委員：今日の質問で明らかになってるのはハーフ丈がクォーター丈より長い。セミハーフは、ハーフより短いって言われてましたっけ。そうするとセミハーフとクォーターとの関係がわからなくなるっていう。うん。選択しないから、セミハーフのことは忘れましょうか。

委員長：それ。できれば、その方がありがたいかなと。

委員：なので、長い方のハーフ丈、今日、見たのはほとんどそうだったと思うんですけど、それか短いクォーター丈かという選択肢。

委員長：ありがとうございます。では、皆さんの方もさきほどの委員のところでまとめていただけたかなと思いますが、ハーフ丈かクォーター丈かで決をとっていきたいと思います。よろしいですか。委員お願いします。

副委員長：クォーター丈が今の島名小と近いっていうイメージで持ったらいいってことですか、ハーフは今の島名より長いんですよ。クォーターは今の島名と近い、ハーフは今の島名より長いサイズを買うと、ということでもいいですか。はい。お返しします。

委員長：ありがとうございます。よろしいですか。皆さんよろしいでしょうか、

決に移っても大丈夫ですか、これ長いと子供たちってこう体育とかで、スポーツテストとかの影響、どうぞ。はい。

委員：はい。一応、もう1回ちょっと私もこんがらがってきてしまったのでインターネットで調べたんですけど、丈はちょっとセミハーフの表記がちょっと見えなかったんですけど、ハーフパンツの方が長くて、クォーターパンツの方が短いと。おそらく今の島名小は、クォーターパンツに近いのかなって印象です。クォーターパンツより、短いか長いかっていうのはわからないんですけど、ちょっとこれはメーカーさんに聞いたわけじゃないんで、定かじゃないんですけども、という印象で私は自分の中で決に移ろうと思っております、以上です。ごめんなさい、自分が参加しようというところですね、決に参加しようっていうふうにできました。以上です。はい。

委員：いいですか。

委員長：いいですよ。はい、お願いします。

委員：今、オンラインショップの情報によればですよ。先ほどのママダさんの説明が多分間違っていて、ハーフパンツはLサイズの場合、ハーフパンツは23から24センチ、股下から。セミハーフは19から20センチ。クォーターが股下15から16。だからクォーターが一番短くて、ハーフパンツが一番長い。ていうのが、ネットのオンラインショップの情報です。はい、セミハーフは間ですね。だからハーフパンツとクォーターパンツ、まあまあ差があります。Lサイズの場合、23か24、股下から15、16なので、はい。

委員：はい。ということは、今の島名小よりハーフ丈を選んだ場合は若干長くなって、クォーター丈を選んだ場合は若干短くなるということですね。

委員長：そうですね、基準はそこです。

委員：あ、ちなみに、質問の中で、クォーター丈は短パンのようなものなのかというのに対しては、短パンよりは長いと言われてました。はい。

委員：ちょっと、またこれもネットで画像見てる情報なんですけど、クォーターパンツよりショートパンツっていうのもあるので、だからショートパンツが本当にすごいちっちゃいのかなっていうイメージなんですよ、私見限りじゃ、はい。クォーターパンツは、島名小の今のものに近いのかなっていうイメージです。今、私が自分の携帯で見てるだけのイメージなんですけど、はい。今日のものはハーフパンツっていうことでしたよね、展示品できたものは、以上です。

委員：いいですか。実はバレーボールを子がやってるんですけど、確か練習着は股下 15 センチを買ってくれてと言われて、股下 15 センチを履かしてるんですけど、結構短いんですよ。はい、以上です。

委員長：これ多分いろんな低学年、高学年でまた違う。男の子、女の子の家でも違うんですね。やっぱりここでの話、極端な話やっぱり 4 年生ぐらいから体の、やっぱりこの変わってくるんで肉付がね。そうすると今まで意識してなかった腰まわりだったり、具体的な話を言いますとですよ、意識してくる子が太もも見せるのが、今までも本当にスカート履くのがよかったのが今度パンツに変わってくる。色の好みもピンクから紫に変わったりとか、とにかく変わる。親の気持ちもわかるんだけど、子供たちってやっぱり履くんですよ。我々が履くんではない。そこを考えたときに、やっぱり、悩みどころ、あとはこう決めるポイントって、やっぱそれぞれ違うのは当然なので、これやっぱりアンケートにしちゃうとそれぞれ今言った立場で答えてくる部分があるから、もちろんいい意味で今、皆さん悩んでいらっしゃる、そこには多分決まったときには子供たちは、それを着用して、体育なり、遠足はこれで行かないのかな、校外学習なり望んでもらえると思いますので、今のほうにつなげていただいてやっぱり目で見えてくると見やすくなって、ちょっとね、委員長としてなぜここにメーカーさんもちょっと引っ張れなかった、ここちょっと想定外だったのは、申

し訳ないなどは思いながらも、ちょっとやっぱりもう決めていただく方向で、もうちょっといきたいと思います。

事務局：すいません。一応、事務局の方で、常に記録をしまして、メーカーさんの説明についても、記録をきちんと残しているんですね。その中で、メーカーの女性の方が、多分、ハーフとクォーターの丈の長さの違いって聞いたときに、クォーターは短い、ハーフはクォーターより3、4センチ長い。ハーフ丈は膝中心くらいまで裾がかかってくる。クォーター丈は膝が出るというふうに女性のメーカーの方はおっしゃってたというふうに記録はしてますので、その言葉の通りであるとそこまですごく差が、本当にその通りであれば、出てないんじゃないかなと。

委員：すいません。裾上げするっていうことは駄目ですか。各自で長めに買って、長ければ成長にみあって、はい、そうです、提案です。はい。

委員長：よろしいですか。ちょっといろんなもう、何か各自の判断とかの意見をここでね、各家庭の判断で買ったとき、もう詰めてあげるだの、折るだのってのは、もうそれは学校としては駄目ですっていうのはないし、このまま履かせても大丈夫とか安全性っていうのはやっぱり家庭でも違うので、ここで決めるのはもう、すいません、ハーフかクォーターかというところでいきますね。では、ハーフからいこうかな。よろしいですか、では、ハーフをご希望されるということで、

委員：13。

委員長：13、はい。では、クォーター。はい、ありがとうございます。では、ハーフ丈ということで、決を取らせていただきました。ありがとうございます。決に至るまでに皆さんのこういった思いをどんどん出していただいたほうが、やっぱりその議事に載って行って、この議事を見ていただければこれだけの協議をやってるってことは、普通の人にご理解いただけると思うので、文書とかに、あえて私たちここまで協議しましたとかの文章を

入れる必要は逆にないかなという、ここまで悩んで決めたんですよっていうのが一文入れていただければいいかなということ。

委員：体操服を作るか、なくすかっていうのは数回前の会合で議論しているので、今回の議事録のところにも何回の議事録に従って、我々はそこに記された理由で体操服を作ることにしましたっていうことを入れれば、今回の議事録を読んだ人も、前の議事録に飛んでいけるわけなので、いいんじゃないかなと思うんですけど。

委員長：今回アンケートの協力を出すにあたり、その一文に、というお話だったんですね。ちょっとその辺の文章はちょっと学校等の協議になりますので、というところで、今の島名小の対応は、保護者に対して、より丁寧にということで、すごく感じておりますので、もちろんその体操服作る、準備委員会において決定されましたっていう文は、もちろん入ってくるのかなと思いましたが。ただ、今はね、いったように議事録をすべて読んでもらえれば、過程っていうのは見えてきますっていうところで、いろんなことを聞かれても、議事録がすべてです、ということで、統一した意識をこの場でお願いできればと思います。今回のここまで決まりまして。

事務局：すいません。そうしましたら、アンケートフォームの質問項目については、当初、4点ほどで事務局のほうは想定してたんですが、最終的にはデザインのタイプとチャックのタイプ、あとはTシャツのタイプですね、について、この3点のみを保護者の方々にはアンケートをとるということでよろしいですか。

委員長：委員の皆さんよろしいでしょうか。挙手かな。よろしいですという方、挙手をお願いいたします。委員、何かありますか。

委員：すいません。この場の質問に対する意見かどうかちょっと一旦置いて、私の意見としてスラックにも書いたことなんですけど、家庭で1票にすべきか、保護者1名につき1票にすべきかっていう議論はここでします



か。

委員長：はい。

委員：はい。それをこの後でいいですかね。はい。

委員長：はい。

委員：今、はい、私がスラックでご提案したのは、1家庭1票じゃなくって、保護者が2人いるんだったら2票に、それぞれが父親や母親がいる家庭であれば、父親が1票、母親が1票それぞれ回答してもいいんじゃないかという提案でした。以上です。

委員長：こちらおそらく、周知いただいております。決をもうとっていきたいと思います。1家庭1票というところで、よろしいんじゃないですか、という方、挙手をお願いします。

委員：13票ですね。

委員長：はい。では、保護者2名につき要は2票ってことですよっていう、1保護者1票ということで、はい。挙手をお願いします。いや、そういうのが大事なんですよね、そこが見えるかどうか。よかったですね、私もよかった。はい、では、ありがとうございました。では、事務局お願いいたします。

事務局：はい、事務局です。アンケートの質問項目と、アンケートを取るための素材自体が決まりましたので、先ほどお話をさせていただいた1商品のポスターの説明につきましては、先ほどにもあった通り、半チャックとオープンのパターンが出てきてますので、半チャックのボックスとストレートのハーフ丈のパターンでの金額をすべて統一で書いていただいて、オープンについては物も持ってきていただきながら、オープンだとプラスいくらになりますよっていう別添を表示するような形で、トータルの値段については、半チャックのボックス、ストレート、ハーフ丈、それと半袖シャツっていうパターンでの金額設定表示ってということで、メーカーにお願いす

る形によろしいですか。

委員長：はい、では事務局から。

委員：ちよつとごめんなさい、わかんなくなっちゃったんですけど、半袖シャツは半袖シャツで選択肢があるとしたら、4つ並べて金額を並べるってことじゃなくて、例えば、上着、ジャージの長袖、長ズボン、ハーフパンツの3点での金額を1、2、3とだし、さらに半袖での値段を1、2、3と出すというお話であってますか。

事務局：合ってるとも何とも言えないんですけど、例えば、Aについての表示は、今の半袖で全部出すってのは、ちよつとどうかなと、アンケートのやり方だと思うんですね、選び方は。書き方は、その1つの種類に対しての金額についてはAのこのセットのままで、いくらです、Bのセットでいくらですっていう。半袖については、その出てるものの金額は全部わかると思いますので、A、B、Cどれでも選べますよっていう話になるのかなと。

委員：よろしいですか。何かその表示の仕方だと、Aというのを選ぶと、Aの半袖を誘導してる感じが非常にしてしまうし、そういうふうにする方もいるんじゃないかなと思います。

委員：すいません。さっきの、もともとアンケートフォームの時点で私ちよつと疑問だったんですけど、グーグルフォームってテキスト文書を自分で貼り付けることができ、それってリンクを貼り付けるとリンクに飛べるようになっているんですね。なので、例えば、1個目のデザインのタイプについてっていうものから、これはネットの話ですけど、リンクで飛んだ先には、Aの長袖、長ズボン、半ズボン、Bの長袖、長ズボン、半ズボン、Cの長袖、長ズボン、半ズボンという形の金額で、オープンチャックの場合は、例えばプラス800円ですよみたいな書き方。で、その次に多分、チャックに行くのか、チャックだったらチャックの選択肢があつて、次に半袖の選択肢、質問があつて、そのところにはA案の半袖、B案の半袖、C案の

半袖で金額がそれぞれであるという形のほうが保護者としても、何でしょう、形としても私は綺麗に見えるんじゃないのかなと思うのですが。何か、長袖と半袖をセットでこう4つセットですって出してしまうと、皆さんちょっとどうなるっていうのがちょっとわかんなくなるんじゃないかなっていうのが1点目。もう1点ちょっとこの値段の話とは別なんですけども、子供に対して半袖のアンケートを取るか取らないかという決は必要ないんでしょうか。私はちょっとそれが気になりました。以上です。

事務局：事務局です。今、おっしゃってることは、選択肢のグーグルフォームの中だと思うのですが、私が話してるのは、学校の展示とかホームページ、先ほど一覧のわかる資料をお出しするときには、そこに今、半袖も含めて出したときにそのポスターとかの資料自体に、グーグルフォームで選択できますけど、そこに半袖はいくらっていうことを別添に出すと、またわかりにくくなるかどうかの表示の仕方だと思うんですよ。

委員：その表示を1種類ずつ出すのか、それともジャージだったらジャージだけっていう形で3点並べて表示するかっていうのが、まずどちらの方が見やすいか、ではないんでしょうか。金額を表示するページと、例えば素材だけを表示するページみたいに比べ、なんでしょう、比較対象として並べるものってないと、その展示されてる下に、例えば、Aのこの長袖、長ズボンみたいな感じで1枚、1枚ペラというのは変ですけど、どう説明すればいいのかちょっとわかんないんですけど、視覚で見たほうが、人って決めやすいのかなと私は思って。そういう意味で言ったときに、そのジャージ3点を並べた比較の表。それが、例えば、1枚で何枚にもわたるからって話であれば、1枚目には金額、デザインだけでもいいですけどデザインだけの比較の表を3つで、2枚目には金額だけの比較の表、3枚目には性能だけの比較の表じゃないんですけど、何かその半袖シャツをそれ一緒にしてしまうとすごく混乱しませんか、私だけでしょうか。

事務局：私が話してたのは、表示をちょっと考えてまして、マネキン1体とオープンのがあってその脇に1個、2番のマネキンがあってその後ろに、オープンのもあったりしてその脇に2番についての説明っていうイメージがしてたので、今の話は、1、2、3並んでまとめて1つで作るってことになるので、3つを並べて間も開けないでやるとかのお話になるので、いろんな表示の仕方になるのかなと思うので。私は個別で1枚ずつって思ってたのが、1枚に3つを比較で書くってことですよね。ですので、展示の方法とその仕方のことになるのかなと思って、1個1個を見て、1つのマネキンを見て1つの説明があって、じゃあ2番に行きましょうか、3番見ましょうかっていうのと、3つ並べといて、もう3つまとめたのを置いとくかの、違いなのかどうかってことだと思うんですけど。先ほど1つ1つをイメージしたのでそこに半袖を置こうっていうのがどうかなっていうのが。グーグルフォームのほうはできますけども、表示の仕方の部分だったので。何人かそろってみんなでこうやって見てしまうので、誰かが1見てるから、私2番に行こうとか3番行こうということは、難しい部分も出てくることもあり得るかなと。表示の仕方とかいろんなことに影響してくることを考えての話だと思うんですけど。

委員長：はい。

委員：はい。表示の話で、実際、学校に展示していただく表示の仕方と、あとはインターネットを通してリンクを貼っていくようにするのかっていう、その表示の仕方っていうのもあるのかと思うんですけど、ちょっとマネキンの展示の仕方についてはもう多分ここから、こちらで要望することも当然できないでしょうし、もうそれは業者さんと学校の都合になるので、それを踏まえて、もう、例えば、私的には事務局に一任していいのかなと思います。学校の表示に関しては、スペースの問題とかも出てくると思うんですけど、ただ話が出てた中で、そのTシャツだけのブースは分けて考えてもいい

いのかな。ブースっていうとちょっと大きな表現なってしまいますけど、はい、ジャージの比較、マネキンごとにジャージがああ説明が後ろにあるのかもしれないですけど、だったら T シャツのコーナーみたいに分けてもいいのかなとは思いました。以上です。

副委員長：すいません。ちょっと繋がるかわかんないですけど、この半袖のこの3つの違いがちゃんと説明しないとわかんないと思ってて、今日見たんですけど、これ、色の違いが2種類あるじゃないですか、白と青って。白と白の違いって素材一緒なんですよね、差し色の仕方がここに入ってるか、パイピングか、みたいな違いだけなんですよ、この2つって。だから、これ実質、色と素材だけだったら2種類から選ばせてるだけで、次、白のメニューになったら、ここに入ってるか、パイピングかっていう違いを選ばせるっていうすごい微妙な違いを選ばせるっていう3種類なんで、そこはちゃんと説明しないと。多分、これパイピングの白なんて、無地の白のメニューっていうやつなんですけど、だからこの3つの違いって、私たちわかってるけど、ご説明受けてないと、何でここ白が2種類あるのかなぐらいの、真っ白となんかここに紺色入ってる白っていうふうに提示されてるのかなぐらいしかわかんないんですけど。だから、それを3種類だから、何か個別に展示して、なんでこの3種類並べてるのかっていうことを言わないと、例えば2種類提示しちゃうぐらいしか見えないかもしれないし、だから、わざわざ T シャツを選ばせるんだったら、T シャツのこの違いを言っておかないといけないかなって感じがするんですよ、これ T シャツの違いって、すごい微妙じゃないですか。青と白を選ばせるだったらすごいわかりやすいですよ。青は機能性素材じゃないけど、色がついてるから汚れがわかりづらいよっていうことで、白は機能性素材だけど白だよっていう。それがさらに事務局が言うようにマネキンとくっついて並んでしまったら、もう親に対して、相当アンケートで教えてあげないと、T シャツ

選ぶ優位性が、何かどれ選べばいいんだろうね、色で選べばいいのかなぐらいしか、多分わかんないかなってちょっと思っていました。すいません。個人的な意見も含めてですけど。

委員：今の委員の話聞いて思ったんですけど、そもそもCのTシャツの選択肢って要りますかっていう気もするんですけど。ちょっと色の調和っていうのが、AのTシャツとCのジャージが合うのかっていう話はあると思うんですけど、何かCの半袖Tシャツの選択肢はなくてもいいんじゃないかという気もするし、あと、票を取ったときに白が2つに割れそうという気はします。

委員：何かさっきメーカーさんがおっしゃってた中に、白の上の、なんででしょう、CのTシャツを出したかってお話をされてたと思うんですね。で、校章を入れるか、入れないかっていうのがこの後の協議であるかもしれないっていう前情報がなければ、本当に一緒だと私も思います。ただ、その前情報まで出すのか、出さないのかも、そこってすごい関わってくるんじゃないのかなとすごく思います。以上です。

委員：はい。今のところ、もしかしたらアンケートの方法で解決できるかなと思ってて、まず、色ではなくて、機能を中心に選んでもらう。だから、メニューで選ぶかもう1つで選んでもらうっていう、その上で、その次のセクションでもって、メニューを選んだ方はどっちか選ぶってやれば、今のその分裂するところは防げるのかなと思いました。何かそのね、要は色でもって汚れとかをごまかすのか、素材の強さでもって白でいくのかって違いですよ、はい。その説明は必要なんですけど。はい。

委員：Bの半袖Tシャツの白とかはあんまり意味がないという意見だったんですけど、AかCがジャージのほうで生き残った場合には、半袖Tシャツの差し色は、Bのジャージの場合もそうなんですけど、半袖TシャツがAかCが生き残った場合には、ジャージの色の差し色に合わせるっていうのは別にと

うことにしてしまえばいいように思うんですけど。A、B、Cのどの色でも半袖 T シャツの差し色は多分できないって話はなくて、色は変えられますって言われてたんで少なくとも。ないしはこっちの B のところでも、その B の濃いほうのネイビーの色に合わせちゃえばいいわけですし、A がもしもジャージで選ばれたら今のこの A のそのままになるし、もしも C がジャージで選ばれたら、A の半袖で T シャツが選ばれたら差し色はもう C の色にしちゃう。シャツの差し色っていうか、斜めに入ってる。

副委員長：じゃなくて、C のジャージに、B の半袖ってなると、真っ青になっちゃいますよ。それはありなの。

委員：白の場合は。

副委員長：白の議論はわかったんですけど、いや、戻ると事務局のアンケート、オールフリーで組み合わせて管理するかっていう話のほうに戻してるんですけど、制限しますかって、このジャージに応じて、半袖の選択肢を制限しますかって多分さっきおっしゃってたんですよ。

事務局：一番最初の資料がこう、青のラインと紫のラインでっていう話は、下の組み合わせと思ったので、A を選んだ場合には半袖については B も選べますよと。C を選んだときは B の選べますよ、ただし A は選べませんっていうふうにするのか、A を選んだときに B の半袖だけじゃなくて C の半袖でも選べるっていうふうにするのか、どうしますかって思ったんですけど。

委員：何か選択肢というか、そのフロー、何かそれって、回答する側からすれば、ちょっと複雑すぎて、何を目論んでいるのかよくわからないなという印象を持たれるような気がするんですけど、むしろこの選択肢 3 つとかいって並べてフラットにしたほうがわかりやすいかな。

副委員長：結果、真っ青な全身になってもいいやってことですよ、ということも含め、やることになっちゃいますけどっていう、下手すると全身真っ青がありえちゃうんで。

委員：でも、もともと B のジャージで、どのジャージにしてもそうなんですけど、結局、B の T シャツを選んだ場合は、全身真っ青になるのは、いずれにしても同じだと思いますよ。

副委員長：同系色の真っ青と。

委員：すみません。私もちょっとフラットに全部選択でって最初思ってたんですけども、確かに私も懸念してるのは、B のジャージが良くて、良いんだけど、半袖シャツは白、カラーじゃないどっちかがいい、B じゃないほうがいいので、今のところ思ってたりするんで、それで悩むのが嫌だっていうのがあるので、先ほどの事務局の意見に私はもう心が動いてそういうふうにしていただければ、その選択がいいと思いました。もう 1 つの理由は、A のシャツと C のシャツは、どっちでもいいんです私。なので、むしろジャージと合ってる色の方がいいんで。B で白を選べるじゃないですか。で、B で選ぶ時に、差し色まで選択しちゃうと、ちょっともういいんじゃないですかね、そこはって思っちゃったんで、もうまた複雑になっちゃうし選択肢も多くなっちゃうんで、だったら C が今ちょうど差し色が一緒なんで、紫、なんで、先ほどの事務局の説明だと、B だったら B のシャツか C のシャツ、A だったら A のシャツか B のシャツ、C だったら、そうですね。そう出てきちゃいますね。そうなんですけど、ていうふうに思いましたね。以上です。

委員：事務局は B のジャージ選択したときの話は 1 度もされてないと思うんですけど、B で A か C を選べる。B の場合はそうすると、考えると A、B、C のどれでも選べるように、結局しないといけなくなると思うんですけど。

事務局：事務局です。その通り、B については A でも C でも、どちらかでも。ただ A については、下と考えるの差し色にしてると思うので、C を選ぶっていうのはどうなのかなと思ったので、カラーを選べるだけだったら B を選べるようにすればいいのかな、C も下のハーフパンツとかと考えるの紫のライ



ンですので、Aの白を選ぶよってということよりは、Bを選べるよっていうだけに、Bはそもそも白じゃないのでAとCのどちらかを選べるようにすればよってということなのかなとは思いますが、あくまでその選択肢にすればいいかなと。AもCも全部選べるよってというのはちょっとどうかなって下と合わせた考えからすると、と思つての話です。

委員：その今、条件つきで、それぞれのTシャツの選択をする場合に、Bをジャージで選んだ場合に、今度AとCの選択肢がそのあと同じ重さで出てくるので票が割れる可能性があるよっていう、結果的には、青に、全身青になってしまう可能性があるよっていうのをちょっと懸念しますね。

委員：いいですか、はい。一応グーグルフォームの設定上は、アンケートの回答に応じて、その次の質問を変えることができるんですよ。なので、まずそのジャージをAかBかCか選んでもらって、まずね、AかBかCから、Aを選んだ人は、次のジャージの選択肢にしていくよっていう方式にすれば、今の問題は解決できるのかなと思つたんですけども。

委員：はい、事務局が言われているのは、もちろんそれができる前提で、それができるのはわかってるんですけど、それが条件つきにすることが妥当なのか、フラットで3つ選ばせたほうがいいのか、或いはフラットで3つ選ばせたときに選ばれたものによっては、半袖Tシャツの差し色とジャージの色が合わなくなる場合には半袖Tシャツの差し色をジャージに合わせて調整すればいいんじゃないかよっていう選択肢があるんじゃないかよっていう選択だと思うんですけど。

委員：ですので、調整とか組み合わせを考える手間を考えると、もう最初にジャージを選んでもらって、そのジャージを選んだもので一番得票数が多かったものから、その次の選択肢の半袖を選んでもらう得票数という決め方が一番シンプルなのかなと思つました。

委員：事務局が言われているのはもう条件つきなので、分母が小さくなった状態

の中で最後、半袖 T シャツは選択しようっていう話だと思うんですね。で、それは、あんまり私はよくないと思うんですけど、結果的には、ある条件を選択した後の少ない母数の中の多数を決めてることになるので、あんまり良くないかなと思いますけど。

委員：はい。イメージとしては総理大臣の決め方と一緒に、まず自民党を選んでそこから総理大臣を決めるっていう考え方で、仮に日本維新の会の総理大臣候補者が一番票が高かったとしても、あくまで、第一党となってる自民党の中から、一番得票を取った人を選ぶっていうロジックです。

委員：白シャツ 1 個で色をもうジャージに合わせてしまうという選択肢にすれば、その問題は解消されると思うんですけどね。A と C、校章をつけるかどうかという話はあると思うんですけど、それは別に A でもつけようと思えばつけられますし、それは後で決めればいい話で、A と C を両方残すほどすごい違いかというとは何かそうでもないようには思いますけど。

委員：いろんな選択の仕方があると思うんですけど、いろいろお聞きしていて、シンプルにやっぱり決めてもいいのかなという考えがわいてきましたので、4 点セットで A、B、C で決めるともいいのかなと思いました。せっかくね、いろいろ言っていたいたのですが、でもこれデザイン的に多分、半袖も含めて、よく作ってあるんだと思うんですよね。B は B で、C は C で。ということを見ると、選択する場合にセットで考えても、きっといいものが選ばれると思うんです。はい、以上です。

委員：お言葉なんですけど、少なくとも、ここにいる何名かは、T シャツの選択肢とジャージの選択肢は、このセットじゃ満足できないと思っているので、この話が出ています。ここに少なくとも数名そういう人がいるってことは、相当の数の親御さんもこの選択肢を見たときに、そう思われるんじゃないかなと思いますし、それほどこの T シャツとジャージの組み合わせが、デザインされる会社の方々が考えられた結果なのかというとは必ずしもそうで

もなく、我々はいくつか要望出したのを、ある組み合わせをただけっ  
ていうようにも思えるので、ちょっと元の A、B、C の3つに戻しての、シ  
ンプルな選択肢に戻すという意見に関しては私は反対します。

委員：はい。もちろんそのお考えも十分わかった上で、ただ、議論が進まない  
というか、まとまらないので、一層シンプルにしたほうがいいのかなどとい  
うのが私の考えでお伝えいたしました。どれほど、議論を尽くしても、決  
まらないものは決まらないと思いますし、どういう決め方をしても一番、  
ベストが出てこないような気がするので、もう時間も時間ですし、はい、  
もう家庭でいろいろ待ってる方もいらっしゃると思うんですよね。やっぱ  
り会議ってのは決めないといけないので、やはり決をとるなりして決めた  
らいいんじゃないでしょうかね。

副委員長：はい、まとめましょう。デザインは多分、AとCはおっしゃるように  
考えられてるんですけど、多分、問題はBを持ち込んだことなんですよ、B  
の半袖シャツをね。Bが全部に選択肢として選べないことが、結局、ここ  
に入っちゃってここに白も選べなくなってる、多分ここがね、一番の、この  
組み合わせの問題点なんで。全部に白があってそこにオプションで半袖の  
黒がいれば、もうよかったのに、何か、汚れの問題で入れてくださいって  
やつを、あちら側がBに組み込んだっていうのが、何の脈絡もないので、  
ただそこが一番この問題になっちゃってるんで、なのでおっしゃるように、  
やっぱ全部に白入れるべきで、そこにオプションとして、色を気にするの  
であれば質は落ちるけど、色がその有色である、色が目立たないってのも  
選択肢としてありますっていう形にしとかなないと、ちょっと選択肢として  
は、せっかくいいデザインが3つもそろったのに、何かそこで制限かかる  
のはちょっと、よろしくないかなと、私も委員の意見に賛成ですので、は  
い。なので、何か、2つで決取りましょうか。オールフリーでやるってい  
う元の案、制限をするのかっていう、まず2択取りましょうか。その制限

の仕方を、半袖 3 種類残したものを制限するのか、委員の 2 種類にしてしまつて選択を制限するのか、そこもつけて取りましようか。まず最初では、すべてをフリーで 3 × 3 でやるっていう案か、ジャージを決めてその先で分岐を作つてやるのかっていう、どちらにするかじゃあ決とりますか。ちょっと自分が迷つてるんで。はい。ジャージのアンケートの仕方について決をとりたいと思います。いいですかね、はい。では、すべての選択肢に対してアンケートをとるという方、手を挙げてください。はい。委員の言つていたジャージを選ばせてからシャツを選ぶという方式でやるという方。あと委員、あれですかね、元の 3 パターンを選ぶという、ですね。じゃあ、13 対 1 対 1。じゃあ、すいません、元の案通り 3 パターンで選ぶという方。13、1、1 ですね。はい。ジャージを選んで、シャツを選ぶというアンケート方式でよろしいですか。はい。

委員長：はい。ということで決まりまして、事務局に確認なんですけども、今のような形で決まりました。こちらで大丈夫でしょうか。はい、ありがとうございます。じゃあ、この流れで、すいません、委員長にマイクを戻させていただきます。3 種類に、シャツですね、どうしていくかということで、ちょっと 3 種類の方から決をとらせていただきたいと思います。3 種類でという方、挙手をお願いいたします。

委員：もうジャージを決めてから T シャツを決めるっていう、条件付の選択にすることになったので、であれば、A のジャージが選択された時には A の T シャツか B の T シャツか、で、簡単な方の C の話からしましょう、C が選ばれた場合には B の T シャツか C の T シャツかという選択で、最後、唯一問題になるのは、B が選ばれたときに、3 つの選択肢を残すか、2 つ、白と有色っていう選択肢に絞るかだけなんだと思うんですね、基本は事務局が提案された方式にも、今、決定されたと思うので。

委員：先ほどの話の中で、B を選んだときの白に行く分岐は、白の A タイプか C

タイプの半袖に行く分岐は B の半袖シャツ、もしくは C の半袖シャツでいいのではないかっていう意見で、理由は、C の差し色が校章の色で B も校章の色を使用している、C のタイプを差し色も校章の色をしているというところで、改めてこの柄とカラーを選択する、今から考える必要はないのではないかっていう意見です。

委員：これ、今、グーグルフォームのアンケートで答えることをメインで考えてると思うんですけど、子供たちのアンケートは、どうするか、すいません、グーグルフォームでやると、スムーズに進んでいけるので、選びやすいと思うんです、大人は。子供の場合は、これができるのだろうか、今ちょっと同じことができるかどうかを考えてしまいました。

副委員長：子供向けのアンケート、私のアイデアです、ジャージに関しては、1、2、3で、シャツに関しては白系か有色系かの選択肢はいかがでしょうか。以上です。青か白かです。

委員長：子供向けのアンケートから、こちらがちょっと決まりやすいと思いますので、これ決を採らせてください。今言ったように、ジャージはその1、2、3で、あれですね、白かブルーでしたっけ、青かですよ。選んでもらうという、もうシンプルですね、それこそね、子供たちはもうそれ選んでもらえますかということで、子供たちのアンケートがよろしいんじゃないですかという方、手を挙げてください。はい、ありがとうございます。すいません。うん、そうではない。そうか、もうそこはもうあくまでもシンプルにセット、なるほどね。はい。大丈夫です。では続いていきますね。

委員：子供の選択肢が、結局6種類、ある意味6種類なんで、親の選択肢も6種類のほうがいいと思います。なので、Bの選択をしたときに、白2種類を並べるよりはどちらかの白と青の選択肢でいいんじゃないかと思います。問題は、それをCのデザインにするかAのデザインにするかだけだと思います。どちらも一長一短あると思うんですけど、それぞれのAとCの半袖

デザイン。

委員長：はい、では委員ありがとうございます。ちょっと、それをちょっともう取りまして、まとめに、もう入っていかないといけない状況ですので、今、委員が最後まとめていただいた皆さん大丈夫ですかね。うん。ところで、子供たちのアンケートが6というところにおいて、こっちから取っちゃっていいですかね。

委員：結果見えてるんですけど、親も6でいいかっていうことを、まず通って、それはもう多分6でいいってみんな言うと思うんですよね。おそらく。その上で、Bの白の選択をAにするのかCにするのかを決めれば、これも何となくもう結果がみえてるんですけど。

委員長：わかりません。はい。決めつけないでください、決をとります。はい。では6、結果はみえていると、言われているそうだね、急ぎたいよね、6ということで、はい、挙手をお願いしたいと思います。はい。15、ありがとうございます。見えてましたね。はい、では続いて、Bの時の白シャツですよね。はい。AかCを残すかっていうところで、Cからいきますね。では、もういいですか。はい、Cを残すという方、挙手をお願いいたします。おいつつですか。

委員：14。

委員長：ありがとうございます。そっちの見えてますね。では、Aを残すという方。はい、ということで、逆だった、逆で見えたってことですね。ありがとうございます。大丈夫です。すいません。やってみなきゃわからないですね。Aだね。ということで、決まりました、はい。ここで一旦、事務局からここまでで何かございますか。

事務局：はい、事務局です。アンケートのフォームについての構成については、今、おまとめいただいた形で、お作りさせていただきまして、何らかの形でちょっとご確認をしていただくような形になるかなと思います。あと兎

童向けアンケート用紙の案につきましても、今現在は1、2、3番の選択肢のみで作らせていただいておりますので、これについても T シャツの色について選択してもらう項目を追加させていただいて、白か青か、この2色どちらかを選んでもらうというような形のアンケート用紙のほうに修正をさせていただきたいかなと思います。児童向けアンケート用紙のちょっとした説明の際にお話させていただいたんですが、ここのアンケート用紙に追加したほうがいい項目があるかどうかというのは、もうこれ以外は特に大丈夫ですかね。はい、わかりました。

委員長：なしということで、共有されたので大丈夫だと、大丈夫です。

事務局：はい、承知いたしました。では、アンケートのほうですね、構成につきましては、ご意見いただいた内容で修正させていただきたいと思います。

委員長：ありがとうございました。すいません、先ほどの事務局の補足になるんですけども、アンケートを実施ということに関しまして、こちらの提示期間のときに面談の期間を、ということで、ちょっとズームにしてしまったという、ざわつきが意外と、来校しての面談を望まれてる方が多いのでということに対してちょっとざわつきがあったので、ちょっと拾ったんですね、ちょっとここで誤解をされてる方もいらっしゃるかなと思うんですけど、面談で学校に行かないから見に行けないということではございません。この期間を使って提示してますので、面談を学校で希望された方はその前なり、帰りなり、学校に行くという負担を考えての合わせましたということなんですね。ズームを希望されての面談の方は、この期間中でありましたら、掲示しておりますので、実際にその見に行ってください、学校での面談希望してないのに、何か保護者に不審者ですかとかって言い出しちゃった人が、今、おましてね、決してそんなことは一切ないということで、ちょっと先ほどのちょっとざわつきが、説明不足という部分でさせていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。なので、

25 から 29 の期間ということで、平日になっておりますので、ご協力のほど  
お願いしたいと思えます。はい。

事務局：事務局です。先ほどの A、B、C のマネキンプラス説明の表示について  
は、金額の表示価格については、ちょっとこちらに任せていただいていい  
ですか。というのは、半袖は選ぶような形になるので、金額が合計にはで  
きないかなと思うので、今、ちらっと考えてるのは、ジャージ上下とハー  
フパンツで、全部 A、B、C それぞれがいくらで、合計金額はその合計金額  
だけで、T シャツは、A の場合は A と B がそれぞれいくらって書いて、  
合計金額にプラスされますというような表示にするのか、もう A の場合に A  
で作ったパターンと B の半袖を作ったパターンの 2 列に表示にして、合計  
は、トータル全部入ってるパターンにするのか、110 円違いの金額がパッと  
見えるようにするのかどうかということになるので、ただ、表示のスペ  
ースとの問題があるので、そこはちょっと業者とこちらに任せていただい  
てよろしいですか。

委員長：はい。今、事務局のお話なんですけども、個人的にはお願いいたしま  
すということですが、決を取って閉めたいと思えます。事務局一任という  
ことで、メーカーさんと打ち合わせしながらまとめていただけるというこ  
とでお願いしますという方挙手をお願いいたします。はい。ということで  
全員一致 15 票ということで決まりましたので、事務局よろしくお願いいた  
します。はい。

事務局：すいません、1 点補足なんですけど、アンケートの実施期間中、保護者  
面談の期間中ですね、メーカーさんの方にちょっとお願いをさせていただ  
きまして、25 日と 27 日の午前中に関しましては、メーカーの方が、展示の  
会場に立ち会っていただけるという形になりましたので、その旨について  
は、保護者の方のアンケートの通知のスクリーン及び緊急メールのほうには  
記載させていただくようにいたしますので、よろしくお願いいたします。



委員長：はい、ありがとうございます。

事務局：はい。それではよろしいですかね。はい。委員長、議事の進行どうもありがとうございました。次にですね、その他になるんですけども、次回の準備委員会の開催についての確認をさせていただきたいと思います。事前にですね、委員長の方とも確認させていただきまして、おそらく委員の方々にも一度ご確認をいただいているとは思いますが、7月の準備委員会につきましては香取台地区、この準備委員会につきましては開催をしない方向とさせていただきたいと思います。ですので、次回の準備委員会につきましては、8月26日金曜日、はい。通常第3金曜日というような形で、準備委員会のほうの日程は大体組ませていただいているんですが、8月につきましては19日がお盆の週のところにかかってきますので、今回につきましては翌週の26日の金曜日という形に設定させていただければと思います。ですので、最初に資料の2でスケジュールのほう説明させていただいているんですが、8月19日金曜日予定となっておりますが、こちらにつきましては8月26日の金曜日という形で修正をさせていただければと思います。申し訳ありません、よろしく願いいたします。また会場、時間等につきましては、追って皆様方にお知らせさせていただきますので、よろしく願いいたします。

委員長：はい、それでは今回の協議につきましては本日終了いたしまして、最後なんですけども、次回第10回以降、体操服が決まってきますと次の協議内容が通学路という形で入っていきます。通学路、PTA組織等につきましては、先ほども伝えさせていただきましたように、保護者も自分との関わりが近ければ近いほど結構拾いやすい環境になってくるのかなと思うんですね。ただすべてここで共通、共有させていただきたいのは、すべて決まるのは、この準備委員会においてということで、個人の考えは一切お答えしないでくださいということをお願い申し上げます。先立ちまして、実はで

すね、事前に通学路についてどのような形で保護者に要望という形であげていただくことがまず最初の動きになるんですけども、この要望書がいかにスムーズにまとめていけるかというものを、過去2回、3回にわたってズームを使いましてミーティングを重ねてきました。ときには夜中11時半を超えた時もありました。最終的に仕上がったものですね、この後、学校を通しまして7月の末までに、各保護者に、各自子供と一緒に散歩がてら、そういった形でもいいと思うんですね、登校班がどうのこうのではないので、まずここ誤解しないでください。まず学校までの考えられるその通学路全体を大まか見ていただいている、そこに必要と思われる、例えば横断歩道だったり標識だったり、子供と一緒に歩いてこの角度でこれが必要ね、というものがある方は、要望を7月末までにお上げしていただきたいんですね。その上げ方なんですね。ただ上げてくださいと言っても、なかなか、先ほどじゃないんですけど、見えてない人はどのような形で流れていったかわからない。それで動画を取りました。まさか今日がこの10時半まで回ると思わなかったのでちょっと申し訳ない、お時間をいただくことになってしまったのか、今回のちょっと計算ミスというところでもあるんですが、ちょっと速やかに説明させていただければと思います。

委員：はい、お願いいたします。動画全体を見ていただくと時間かかっちゃうので、ちょっとガイドラインというか、アジェンダ的に説明させていただきます。まず3月のこの準備委員会で、通学路に関する報告が、事務局からいただいております、その時に上がったのが、下の今後の流れでありますけれども、通学路として利用するルートを確認しますよ、そのあと現地確認実施及び必要な対策の洗い出しをしますよ、そのあと関係機関にその必要事項を要望しますっていう流れでした。通学路として利用するルートは、登校班とかも決めようがないので、まず先に、この関係者による現地確認実施及び必要な対策を洗い出ししましょうよというのが今、求め

られているフェーズかと思います。そこで、委員長からも話がありました通り、保護者の皆さんにですね、自分たちで歩いて安全点検調査してもらいましょうよというご案内を今この文章で作ってます。ここで文章を読み上げることはしませんけれども、今、学校ってこういう状況で、新しい学校に向けて、皆さんすいません、各々で歩いてもらって、危ない場所のあったらあげてくださいねっていう案内文書です。その回答の仕方としてはですね、グーグルフォームをやはり活用しようと思ってまして、このような安全点検調査のフォーマットを作りました。危ないと思われてる箇所とここに認定道路って書いてあるんですけれども、香取台地区って番地言ってもよくわかんないので、道路の番号で皆さんにご回答いただこうと思ってます。そのあとですね、その場所がどうしてなのかっていうのを回答してもらって、じゃあその危険なものに対して、どういう改善を求めますかというのを上げてもらって、これをエクセルで集計して、後ほど事務局に集計を上げていくという形をとりたいなと思ってます。ここでポイントになるのが、道路番号でどうやって調べるんだって話が出てきましたので、道路番号のですね、調べ方も含めて、解説動画というか、そういったものをですね、作りました。ここで、これを公開しなくてね、しゃべんなくてもいいのかなと思うんですけれども、こんなことずっとしゃべってます。なまってる発言なのでこれぐらいにしていますけれども、これをご覧いただければ、一応、その調べ方がわかるというものにしてますので、ご案内文書のときに、アンケートの回答フォームとこの動画のリンク、これ今YouTubeに、小学校のですね、小学校のYouTubeのページに挙げさせてもらおうと思ってまして、それで調べ方を皆さんに見ていただきながら、7月末までに調査をして、グーグルフォームで回答いただくという流れで、保護者と対象となる児童の皆さんから、広くですね、自分たちの地域の新しい学校の通学に関わる安全について理解を深めていただきたいというふう

に考えております。以上です。

委員長：ありがとうございます。この画面にたどり着くまでの説明も、今ちょっとはしょってるんですけど、実はこれ10分くらいの動画になってるんですよね。最初から見ていただくとそこからちゃんと説明に至っております、最終的にこういった形で上げて、ちゃんと全部見ていただくとその流れになっております。これをですね、学校を通してという形で、(仮称)香取台小学校の学区内の家庭にご協力をいただいて、7月末までをもって事務局に、準備委員としましてこの上がってきた要望は基本全部吸い上げて通るか通らないかって言う形でそれは見ていただいて、通らなかった場合、それは説明あるんですかとかっていうのはちょっとここでの議論ではないので、今後、通学路に入りましたら、またその辺も対応させていただきたいと思います。今日はちょっとこちらで周知していきますということをご理解いただきたく、ちょっと時間を設けさせていただきました。大丈夫でしょうかね。委員の方々も含め、はい。挙手、いや挙手して駄目かとのかって言うから、ちょっと何を言ってるんでしょ、このまま進めさせていただければと思うところでご協力のご理解のほどお願い申し上げます。じゃ、よろしいでしょうかね。本当に大丈夫ですか、はい。以上です。事務局すいません、お時間いただきましてありがとうございました。このような形で、要望書まで提出に至りたいと思いますので、よろしく願いいたします。はい。以上です。

事務局：ありがとうございました。そうしましたらですね、皆さん長時間にわたりまして、ご協議いただきましてありがとうございました。時間も大分遅いですので、帰り道はお気をつけてお帰りください。お疲れ様でした。

## 5 閉会